学術集会プログラム

会長講演

◎

10 月 19 日（木） 10：00 ～ 10：30　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）
座長　雨宮　伸（埼玉医科大学病院小児科）

健全な Life Course を支える小児内分泌学
菊池　透
埼玉医科大学小児科

学会賞受賞講演

◎

10 月 20 日（金） 14：00 ～ 14：15　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）
座長　菊池　透（埼玉医科大学小児科）

感謝
長谷川　奉延
慶應義塾大学医学部小児科学教室

特別講演 1

◎

10 月 20 日（金） 10：40 ～ 11：15　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）
座長　堀川　玲子（国立成育医療研究センター内分泌代謝科）

PL1　わが国における妊婦の栄養管理の変遷から児の長期的な健康を考える
伊東　宏晃
浜松医科大学

特別講演 2

◎

10 月 20 日（金） 11：20 ～ 11：55　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）
座長　長谷川　奉延（慶應義塾大学医学部小児科学教室）

PL2　糖尿病と妊娠
杉山　隆
愛媛大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座

特別講演 3　男女共同参画・ワークライフバランス委員会共同開催

◎

10 月 21 日（土） 14：40 ～ 15：10　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）
座長　田島　敏広（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科）

PL3　まれな内分泌疾患との出会いからはじまった研究とそこから広がる世界
槙田　紀子
東京大学大学院医学系研究科内分泌病態学

海外招請講演

◎

10月20日（金） 14：30～15：05 第1会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長 菊池 透（埼玉医科大学小児科）

The use of technology for achieving Time in Range and Time in Tight range

Tadej Battelino

UCH, University Medical Center Ljubljana, Slovenia

Faculty of Medicine, University of Ljubljana, Ljubljana, Slovenia

KSPE-JSPE 交換講演

◎

10月20日（金） 15：10～15：40 第1会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長 難波 範行（鳥取大学医学部周産期・小児医学分野）

Molecular and Clinical Characteristics of Monogenic Diabetes in Korean Children

Chong Kun Cheon[1,2]

[1]Pusan National University School of Medicine, Yangsan, Korea,

[2]Pusan National University Children's Hospital, Yangsan, Korea

自見はなこ先生ビデオメッセージ

◎

10月20日（金） 14：15～14：25 第1会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

自見 はなこ

参議院議員

シンポジウム 1 大規模災害に備える

◎

10月19日（木） 10：40～11：55 第1会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長 中村 公俊（熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座）

横谷 進（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）

SY1-1 東日本大震災をふりかえる～私たちにできたこと

藤原 幾磨

仙台市立病院小児科

SY1-2 大規模災害に備える熊本地震の経験～課題と将来への対応～

松本 志郎

熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座／間部病院

SY1-3 北海道における大規模災害への備えの取り組み

伊藤 善也

日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域

シンポジウム 2 成長ホルモン治療の新たな展開

◎

10月19日（木） 10：40～11：55 第2会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長 鞍嶋 有紀（島根大学医学部小児科学教室）

水野 晴夫（藤田医科大学医学部小児科学）

SY2-1 成長ホルモン治療と糖代謝異常

武者 育麻

埼玉医科大学病院小児科／埼玉医科大学病院ゲノム医療科

SY2-2 長時間作用型 GH 製剤による GHD 治療の新展開

川井 正信

大阪母子医療センター消化器・内分泌科

SY2-3　「特発性成長障害」：Reviews and Perspectives
長谷川　行洋
東京都立小児総合医療センター

シンポジウム 3　ライフコースを踏まえた小児内分泌疾患のマネージメント（1）

◎

10 月 19 日（木）　10：40 ～ 11：55　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）
座長　大薗　恵一（大阪大学名誉教授、医誠会国際総合病院難病医療センター）
髙橋　郁子（秋田大学大学院医学系研究科小児科学講座）

SY3-1　ターナー女性がずっと健康で過ごすために
伊藤　純子
虎の門病院小児科

SY3-2　ライフコースを踏まえたプラダー・ウィリー症候群のマネージメント
大戸　佑二
獨協医科大学埼玉医療センター小児科

SY3-3　成人期を見据えた骨形成不全症のマネージメント
窪田　拓生
大阪大学大学院医学系研究科小児科学

シンポジウム 4　小児期発症内分泌疾患のプレコンセプションケアの実際

◎

10 月 20 日（金）　9：15 ～ 10：30　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）
座長　布川　香織（鎌倉療育医療センター小さき花の園　小児科）
南谷　幹史（帝京大学ちば総合医療センター小児科）

SY4-1　バセドウ病
荒田　尚子
国立成育医療研究センター周産期母性診療センター母性内科

SY4-2　小児期発症糖尿病女性のプレコンセプションケア
和栗　雅子
大阪母子医療センター母性内科

SY4-3　小児内分泌疾患におけるプレコンセプションケアの考え方
鹿島田　健一
東京医科歯科大学発生発達病態学

シンポジウム 5　多機関共同研究のススメ

◎

10 月 20 日（金）　9：15 ～ 10：30　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）
座長　井原　健二（大分大学医学部小児科学講座）
望月　美恵（国立病院機構甲府病院小児科）

SY5-1　わが国の小児 1 型糖尿病の多施設共同前向きコホート研究：小児インスリン研究会コホート研究
山本　幸代
産業医科大学医学部医学教育担当教員／小児インスリン治療研究会

SY5-2　DREAMBee Study の紹介
◎なし
川﨑　麻紀
国立研究開発法人国立成育医療研究センター

SY5-3　小児血液・がん領域の多施設共同研究
今井　千速
富山大学学術研究部医学系小児科学講座

シンポジウム６　小児・思春期・若年者の高度肥満へのアプローチ

◎

10 月 21 日（土） 9：00 ～ 10：15　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　井ノ口　美香子（慶應義塾大学保健管理センター）
　　小山　さとみ（獨協医科大学小児科学）

SY6-1　高度肥満小児の非薬物療法―小児科の立場から―
原　光彦
　和洋女子大学家政学部健康栄養学科／日本大学医学部小児科

SY6-2　成人診療科における高度肥満症治療
辻野　元祥
　東京都立多摩総合医療センター内分泌代謝内科

SY6-3　米国に学ぶ小児肥満手術普及に向けた道のり
矢田　圭吾
　聖路加国際病院小児外科／聖路加国際病院小児科

シンポジウム７　ライフコースを踏まえた小児内分泌疾患のマネージメント（2）

◎

10 月 21 日（土） 9：00 ～ 10：15　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　岡田　賢（広島大学大学院医系科学研究科小児科学）
　　丸尾　良浩（滋賀医科大学小児科）

SY7-1　早産児一過性低サイロキシン血症の病態生理
河井　昌彦
　京都大学大学院医学研究科新生児学講座

SY7-2　胎児期から妊娠期までの先天性甲状腺機能低下症の管理
長崎　啓祐
　新潟大学医歯学総合病院小児科

SY7-3　汎下垂体機能低下症
三善　陽子
　大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科・臨床栄養発育学研究室

シンポジウム８　インスリン発見の福音～ノーベル賞受賞 100 周年を祝って～

◎

10 月 21 日（土） 13：15 ～ 14：30　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　菊池　信行（横浜労災病院・小児科）
　　田久保　憲行（順天堂大学医学部小児科学講座）

SY8-1　インスリン発見 100 年と 1 型糖尿病治療の進歩
広瀬　正和
　D Medical Clinic Osaka

SY8-2　1 型糖尿病の子どもが日々を健やかに過ごせるように
～「園・学校生活への支援」と「小児糖尿病キャンプ」～
小川　洋平
　新潟大学医歯学総合病院小児科

SY8-3　1型糖尿病の子供が自立し、安心して治療を継続できる社会を築くために今、私たちができること
南　昌江
　医療法人南昌江内科クリニック

シンポジウム９　臨床遺伝学的検査を使いこなす

◎

10 月 21 日（土） 13：15 ～ 14：30　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　臼井　健（静岡社会健康医学大学院大学／静岡県立総合病院）
　　道上　敏美（大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門）

SY9-1　マイクロアレイ染色体検査を使いこなす
中村　明枝
　北海道大学病院小児科

SY9-2　商業ラボでの遺伝子変異解析の実際
細川　淳一
　かずさ DNA 研究所

SY9-3　インプリンティング異常症解析の実際
松原　圭子
　国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室／
　国立成育医療研究センター研究所衛生検査センター

男女共同参画・ワークライフバランス委員会企画 シンポジウム　ダイバーシティから小児内分泌学の発展へ―多様なアカデミックキャリアを考える

◎

10 月 21 日（土） 9：00 ～ 10：15　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　宇都宮　朱里（広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科）
　　矢ヶ崎　英晃（山梨大学医学部小児科）

GW-1　海外での糖尿病研究と生活について
佐竹　栄一郎
　ジョスリン糖尿病センター／ハーバード大学医学部

GW-2　小児内分泌キャリアとクリニック勤務について
―JSPE における 10 年間の女性医師の動向調査―
村下　眞理
　医療法人むらしたこどもクリニック

GW-3　性差医療の実践とエビデンスから、ジェンダード・イノベーション「WaiSE」開発へ至る
片井　みゆき
　政策研究大学院大学保健管理センター

Meet the Expert1

◎

10 月 20 日（金） 9：15 ～ 10：15　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

共催：株式会社 LSI メディエンス

座長　室谷　浩二（神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科）

ME1　先天異常症候群の診かた考え方
黒澤　健司
　神奈川県立こども医療センター遺伝科

Meet the Expert2

◎

10 月 20 日（金） 10：40 ～ 11：40　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

共催：株式会社キュービクス

座長　土橋　一重（山梨大学医学部小児科）

ME2　小児家族性高コレステロール血症（FH）および原発性脂質異常症に対する遺伝学的検査：活用法の実際

多田　隼人

金沢大学附属病院循環器内科

Meet the Expert3

◎

10 月 21 日（土） 9：00 ～ 10：30　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

座長　広瀬　正和（D Medical Clinic Osaka）

ME3　「動機づけ面接」のススメ

川村　智行

あべのメディカルクリニック

ファシリテーター：

高谷　具純[1]、山田　克彦[2]、坂東　賢二[3]、波多野　恵[4]

[1] 千葉大学大学院医学研究院小児病態学、[2] 佐世保中央病院小児科、
[3] 和泉市立総合医療センター小児科、[4] 東京医科歯科大学 / 聖路加国際病院　小児科

Meet the Expert4

◎

10 月 21 日（土） 13：15 ～ 14：15　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

座長　大幡　泰久（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）

ME4　T_3 と T_4 を再考する

鳴海　覚志

慶應義塾大学医学部小児科学教室

スポンサード教育セミナー

10 月 19 日（木） 9：00 ～ 9：40　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

共催：ファイザー株式会社 希少疾病領域メディカル・アフェアーズ部

座長　恵谷　ゆり（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

SS　子どもの痛み体験はその時だけでは終わらない

加藤　実

春日部市立医療センター ペインクリニック内科

ランチョン教育セミナー 1　軟骨無形成症の治療と管理

10 月 19 日（木） 12：10 ～ 13：00　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

共催：バイオマリン ファーマシューティカルジャパン株式会社

座長　長谷川　奉延（慶應義塾大学医学部小児科学教室）

LS1-1　軟骨無形成症 Update：病態と新規治療

道上　敏美

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門

LS1-2　軟骨無形成症への整形外科的アプローチ

岡田　慶太

東京大学医学部附属病院整形外科／入退院センター

ランチョン教育セミナー 2

10 月 19 日（木）　12：10 ～ 13：00　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

共催：テルモ株式会社

座長　浦上　達彦（浦上小児内分泌・糖尿病クリニック）

LS2　小児期発症糖尿病患者における rtCGM 運用 Tips

川村　智行

あべのメディカルクリニック

ランチョン教育セミナー 3　XLH 診療における重症度評価のポイント

10 月 19 日（木）　12：10 ～ 13：00　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

共催：協和キリン株式会社

座長　井原　健二（大分大学医学部 小児科学講座）

LS3-1　小児 XLH の管理　―多彩な症状に応じた個別管理の重要性―

柏木　博子

独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 小児科

LS3-2　成人 XLH ならびに類縁疾患の管理　―円滑なトランジションを目指して―

鈴木　敦詞

藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学

ランチョン教育セミナー 4

10 月 19 日（木）　12：10 ～ 13：00　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

共催：ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス

座長　大竹　明（埼玉医科大学病院　ゲノム医療科／小児科）

LS4　小児内分泌診療における亜鉛欠乏の評価および治療の位置づけ

菅原　大輔

自治医科大学附属さいたま医療センター小児科

ランチョン教育セミナー 5

10 月 20 日（金）　12：05 ～ 12：55　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

共催：ＪＣＲファーマ株式会社

座長　鹿島田　健一（東京医科歯科大学（TMDU）　大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野（小児科））

LS5　SGA 性低身長症 Up to Date（SGA の国際ガイドラインを中心に）

中野　有也

昭和大学江東豊洲病院小児内科

ランチョン教育セミナー 6

10 月 20 日（金） 12：05 ～ 12：55　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

共催：アボットジャパン合同会社

座長　杉原　茂孝（和洋女子大学大学院総合生活研究科）

LS6　臨床における isCGM の有用性ー実際の症例を用いて

浦上　達彦

浦上小児内分泌・糖尿病クリニック

ランチョン教育セミナー 7　成人期 HPP 症例の Patient Journey から学ぶ早期診断の意義 ～長期経過における臨床症状の変遷と酵素補充療法の有効性・安全性について～

10 月 20 日（金） 12：05 ～ 12：55　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

座長　大薗　恵一（医誠会国際総合病院 難病医療推進センター）

LS7-1　40 代で酵素補充療法が導入された乳児型低ホスファターゼ症における治療効果

大幡　泰久

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学

LS7-2　成人期発症 HPP 例の経験から小児科医へお願いしたいこと

村田　博昭

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 整形外科

ランチョン教育セミナー 8

10 月 20 日（金） 12：05 ～ 12：55　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長　森　潤（大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科）

LS8　成長ホルモン分泌不全性低身長症 診断と治療の手引き改訂から見える新しい GH 治療

伊達木　澄人

長崎大学大学院医学薬学総合研究科小児科学

ランチョン教育セミナー 9

10 月 21 日（土） 12：15 ～ 13：05　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

共催：ＪＣＲファーマ株式会社

座長　深見　真紀（国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部）

LS9　SHOX 異常症：その発見から診断・治療まで

緒方　勤

浜松医科大学医学部／浜松医療センター

ランチョン教育セミナー 10

10 月 21 日（土） 12：15 ～ 13：05　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

共催：ファイザー株式会社

座長　石井　智弘（慶應義塾大学医学部小児科）

LS10　A rising star in GHD treatment-SOMATROGON

安達　昌功

昭和大学医学部小児科学講座

ランチョン教育セミナー 11　軟骨無形成症における合併症の治療と管理

10 月 21 日（土） 12：15 ～ 13：05　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

共催：バイオマリン ファーマシューティカルジャパン株式会社

座長　藤原　幾磨（仙台市立病院小児科）

LS11-1　軟骨無形成症における大後頭孔狭窄および水頭症の診断と治療

香川　尚己

大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

LS11-2　軟骨無形成症患児の睡眠時無呼吸症に対する耳鼻咽喉科の役割

山口　宗太

東邦大学医療センター大橋病院耳鼻咽喉科

ランチョン教育セミナー 12

10 月 21 日（土） 12：15 ～ 13：05　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

共催：日本イーライリリー株式会社

座長　田久保　憲行（順天堂大学医学部小児科学講座）

LS12　血糖変動の抑制を目指した、新たなる糖尿病治療戦略

西村　理明

東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科

イブニング教育セミナー　小児内分泌代謝疾患の診療 Update ―多様性と共に生きる時代―

10 月 19 日（木） 18：30 ～ 20：00　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長　堀川　玲子（国立成育医療研究センター内分泌代謝科）

ES-1　1 型糖尿病治療の理論と実際アップデート－コネクティッドインスリンデバイスの有効活用－

前田　泰孝

医療法人南昌江内科クリニック／一般社団法人南糖尿病臨床研究センター

ES-2　成長障害診療の最前線 2023

石井　智弘

慶應義塾大学医学部小児科

モーニング教育セミナー

10 月 20 日（金） 8：30 ～ 9：10　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

共催：DENIS ファーマ株式会社

座長　天野　直子（さいたま市立病院小児科）

MS　TRAJECTORY to the future of CAH management

高澤　啓

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野

ハンズオンセミナー 1

10 月 19 日（木） 10：40 ～ 11：55　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

共催：日本メドトロニック株式会社

HS1　ミニメド ™770G システムのハンズオン：
Hybrid Closed Loop（基礎インスリン自動調整機能）を含めたミニメド ™770G システムの特徴やテクノロジーの概要・ハンズオン（ボタン操作体験）・インスリンポンプや CGM 導入時のコツや注意点など

ハンズオンセミナー 2

10 月 20 日（金） 9：15 ～ 11：55　ハンズオンセミナー会場（ソニックシティビル 6F 601）

共催：テルモ株式会社

HS2
① 9：15～ 9：45　**リアルタイム CGM「Dexcom G6」（1 回目）**
② 9：45~10：30　**パッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズ スマート」（1 回目）**
③10：40~11：10　**リアルタイム CGM「Dexcom G6」（2 回目）**
④11：10~11：55　**パッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズ スマート」（2 回目）**

ハンズオンセミナー 3

10 月 21 日（土） 13：15 ～ 14：15　ハンズオンセミナー会場（ソニックシティビル 6F 601）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

HS3　手部骨年齢判定の要点
安藏　慎
東京都立大塚病院小児科

インタラクティブプレミアムセミナー　出会って、語って、気づいて、学んで　～リエゾン・超音波・BS ～

10 月 20 日（金） 9：15 ～ 11：15　インタラクティブプレミアムセミナー会場（ソニックシティビル 6F 603・604）

共催：サンド株式会社

座長　松井　克之（滋賀県立小児保健医療センター）

IPS-1　「症例で学ぶ！　Biology・Psychology・Sociology で診ることのススメ」
田中　恭子
国立成育医療研究センターこころの診療部

IPS-2　内性器超音波検査のポイント
森田　有香
神奈川県立こども医療センター放射線科

IPS-3　バイオシミラーについて患者にどう説明するか？
原　文堅
がん研究会有明病院

最優秀演題賞・若手優秀演題賞候補口演 1

10 月 19 日（木）13：10 ～ 14：25　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　井原　健二（大分大学医学部小児科学講座）
　　道上　敏美（大阪母子医療センター 研究所骨発育疾患研究部門）

SP1-1　15q26.1 における非コード配列変化を病因とする家族性先天性甲状腺機能低下症の新病型の同定

鳴海　覚志[1,2]、長崎　啓祐[3]、上原　絵理香[2]、秋葉　和壽[2,4]、中尾　佳奈子[2]、志村　和浩[1]、
阿部　清美[1]、杉澤　千穂[1]、桐谷　光夫[5]、都　研一[6]、長谷川　行洋[4]、室谷　浩二[7]、
丸尾　良浩[8]、中林　一彦[9]、秦　健一郎[9,10]、高山　順[11]、島　彦仁[12]、菊池　敦生[12]、
長谷川　奉延[1]

[1] 慶應義塾大学医学部小児科、[2] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[3] 新潟大学医歯学総合病院小児科、[4] 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
[5] 帝京大学医療技術学部臨床検査学科、[6] 福岡市立こども病院内分泌・代謝科、
[7] 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、[8] 滋賀医科大学小児科学講座、
[9] 国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部、[10] 群馬大学医学部分子生物学、
[11] 東北メディカル・メガバンク機構、[12] 東北大学医学部小児科

SP1-2　ESR1 遺伝子イントロン 6 の微細欠失は停留精巣・尿道下裂の発症感受性因子である

緒方　勤[1,2]、増永　陽平[1]、加藤　芙弥子[1]、藤澤　泰子[1]、Massart Francesco[3]、
Spinelli Claudio[4]、小島　祥敬[5]、林　祐太郎[6]、水野　健太郎[6]、笹川　五十次[7]、吉田　理恵[8]、
才津　浩智[9]、鎌谷　直之[10]、深見　真紀[11]

[1] 浜松医科大学小児科、[2] 浜松医療センター、[3] ピサ大学小児科、[4] ピサ大学小児外科、
[5] 福島県立医科大学泌尿器科、[6] 名古屋市立大学小児泌尿器科、[7] 山形徳洲会病院泌尿器科、
[8] 慶應大学小児科、[9] 浜松医科大学医化学講座、[10] スタージェン、
[11] 国立成育医療センター研究所分子内分泌研究部

SP1-3　軟骨組織における SHOX 発現性差：成人身長性差における意義

服部　淳[1,2]、関　敦仁[3]、内木　康博[4]、中村　明枝[1]、道上　敏美[5]、福井　由宇子[1]、緒方　勤[6,7]、
鏡　雅代[1]、深見　真紀[1,2]

[1] 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、
[2] 国立成育医療研究センターダイバーシティー研究室、[3] 国立成育医療研究センター整形外科、
[4] 国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科、[5] 大阪母子医療センター 骨発育疾患研究部門、
[6] 浜松医科大学医学部付属病院 小児科、[7] 浜松医療センター 小児科

SP1-4　臨床応用可能な One-step PCR を用いた Long read sequence による CYP21A2 解析法の開発と新規構造異常の同定

安達　恵利子[1]、中川　竜一[1]、辻　敦美[1]、我有　茉希[1]、桐野　玄[1]、ヨギ　アナリア[1]、
中谷　久恵[1]、高澤　啓[1]、山口　智美[2]、古庄　知己[2]、村上　正憲[3]、田島　敏弘[4]、
長谷川　奉延[5]、山田　哲也[3]、森尾　友宏[1]、小原　収[6]、鹿島田　健一[1]

[1] 東京医科歯科大学大学院　発生発達病態学分野、[2] 信州大学　医学部遺伝学教室、
[3] 東京医科歯科大学　糖尿病・内分泌・代謝内科、[4] 自治医科大学附属病院　小児科、
[5] 慶應義塾大学医学部　小児科学教室、[6] かずさ DNA 研究所

SP1-5　Multilocus imprinting disturbances 症例におけるメチル化可変領域の異常パターン、遺伝型、表現型の検討

浦川　立貴[1,2]、矢本　香織[3]、原　香織[1]、松原　圭子[1]、副島　英伸[4]、齋藤　伸治[5]、
緒方　勤[1,3]、深見　真紀[1]、鏡　雅代[1]

[1] 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、[2] 長崎大学小児科、[3] 浜松医科大学医科学講座、
[4] 佐賀大学 医学部分子生命科学講座 エピジェネティクス分野、
[5] 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野

最優秀演題賞・若手優秀演題賞候補口演2

10月19日（木）14：25 ～ 15：40　第1会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　南谷　幹史（帝京大学ちば総合医療センター小児科）
　　山本　幸代（産業医科大学 医学部 医学教育担当教員）

SP2-1　Pre-treatment blood transcriptome predicts first-year growth and insulin-like growth factor (IGF)-I response to somapacitan treatment in children with growth hormone deficiency (GHD)

Reiko Horikawa[1], Terence Garner[2], Peter Clayton[2,3], Michael Hojby[4], Philip Murray[2,3], Adam Stevens[2]
[1]Div. of Endocrinol. Metab., Nat Center for Child Health and Development,
[2]Div. of Developmental Biol. and Med., Faculty of Biology, Medicine and Health, Univ. of Manchester and Manchester Academic Health Science Centre, Manchester, UK,
[3]Dept. of Paed. Endocrinol., Royal Manchester Children's Hosp., Manchester, UK,
[4]Novo Nordisk, Clinical Drug Development, Søborg, Denmark

SP2-2　Effective growth hormone (GH) replacement with once-weekly somapacitan in children with GH deficiency: 2-year results from REAL 4

Reiko Horikawa[1], Bradley Miller[2], Joanne Blair[3], Michael Rasmussen[4], Aristides Maniatis[5], Jun Mori[6], Volker Bottcher[7], Ho Seong Kim[8], Rikke Bang[9], Michael Polak[10]
[1]Div. of Endocrinol.Metab., Nat. Center for Child Health & Developmeht,
[2]Div Ped Endocrinol., Univ Minnesota Med. School, MHealth Fairview Masonic Children's Hosp, Minneapolis, USA,
[3]Dept. of Endocrinol., Alder Hey Children's NHS Foundation Trust, Liverpool, UK,
[4]Novo Nordisk A/S, Søborg, Denmark,
[5]Rocky Mountain Pedl Endocrinoll, Centennial, USA,
[6]Div. of Ped. Endocrinol. Metab., Children's Med.l Center, Osaka City Gen. Hosp.,
[7]Div. of Ped. Endocrinol. Metab., MVZ Endokrinologikum Frankfurt am Main, Frankfurt, Germany,
[8]Dept. of Ped., Severance Children's Hosp., Inst. of Endocrinol., Yonsei Univ. Col. of Med., Seoul, Korea,
[9]Novo Nordisk A/S, Aalborg, Denmark,
[10]Serv. d'Endocrinol. Gyne. et Diab. Ped., Hôpital Univ. Necker Enfants Malades Paris, Paris, France

SP2-3　個人毎に異なるヘモグロビンの糖化度を加味する新しい血糖管理指標 adjusted HbA1c（aA1c）の提案

望月　美恵[1,2]、雨宮　伸[1,3]、武者　育麻[1,3]、鈴木　滋[1,4]、國米　崇秀[1,4]、小林　浩司[1,2]、菅原　大輔[1,5]、小山　さとみ[1,6]、小林　基章[1,7]、松浦　信夫[1,8]、菊池　透[1,3]
[1]小児インスリン治療研究会 、[2]山梨大学小児科、[3]埼玉医科大学小児科、[4]旭川医科大学小児科、
[5]自治医科大学附属さいたま医療センター小児科、[6]獨協医科大学小児科、
[7]こばやしこどもクリニック、[8]市立美唄病院小児科

SP2-4　LC-MS/MS による前思春期の性ステロイドホルモン基準値の検討

今野　麻里絵[1,2]、池側　研人[1]、長谷川　行洋[1,2,3]
[1]東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、[2]慶應義塾大学医学部小児科、
[3]多摩北部医療センター小児科

SP2-5　先天性甲状腺機能低下症の次世代再発率は最大 30%である

長崎　啓祐[1]、鳴海　覚志[2,3]、中尾　佳奈子[3]、廣嶋　省太[1]、小貫　孝則[1]、澤野　堅太郎[1]、柴田　奈央[1]、入月　浩美[1]、小川　洋平[1]
[1]新潟大学医歯学総合病院小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科、
[3]国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部

English Oral Session 1

10月21日（土）10：45 ～ 11：25　第3会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　田嶋　朝子（埼玉県立小児医療センター代謝・内分泌科）
長谷川　行洋（東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科）

EO1-1　Once-weekly Somapacitan in Japanese Children with GH Deficiency: 2-year Results from REAL4

Yasuko Fujisawa[1], Jun Mori[2], Yasuhisa Ohata[3], Yukihito Sato[4], Sebastian Rohrich[5], Michael Hojby Rasmussen[6], Rikke Beck Bang[7], Reiko Horikawa[8]

[1]Dept. of Pediatr., Hamamatsu Univ. Sch. of Med.,
[2]Div. of Pediatr. Endo. and Metabolism, Children's Medical Center, Osaka City General Hosp.,
[3]Dept. of Pediatr., Osaka Univ. Grad. School of Med.,
[4]Novo Nordisk Pharma Ltd., Tokyo, Japan,
[5]Global Medical Affairs, Rare Endo. Disorders, Novo Nordisk Health Care AG, Zurich, Switzerland,
[6]Clinical Drug Development, Novo Nordisk A/S, Søborg, Denmark,
[7]Novo Nordisk A/S, Aalborg, Denmark,
[8]Div. of Endo. and Metabolism, Nat. Center for Child Health and Dev.

★EO1-2　Model-based analysis of IGF-I response, dosing, and monitoring for once-weekly somapacitan in children with GH deficiency

Jun Mori[1], Rasmus Juul Kildemoes[2], Yassine Kamal Lyauk[2], Joanne C. Blair[3], Bradley S. Miller[4], Michael Højby Rasmussen[2], Philippe F. Backeljauw[5]

[1]Division of Pediatric Endocrinology and Metabolism, Children's Medical Center, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan,
[2]Novo Nordisk A/S, Søborg, Denmark,
[3]Department of Endocrinology, Alder Hey Children's NHS Foundation Trust, Liverpool, United Kingdom,
[4]Division of Pediatric Endocrinology, University of Minnesota Medical School, MHealth Fairview Masonic Children's Hospital, Minneapolis, Minnesota, USA,
[5]Cincinnati Children's Hospital Medical Center, University of Cincinnati College of Medicine, Cincinnati, Ohio, USA

EO1-3　Patient preference questionnaire response after switching to somapacitan after taking daily growth hormone: 2-year results from REAL 4

Jun Mori[1], Joanne C. Blair[2], Bradley S. Miller[3], Michael Hojby Rasmussen[4], Aristides Maniatis[5], Volker Böttcher[6], Ho-Seong Kim[7], Rikke Beck Bang[8], Lasse De Fries Jensen[3], Michel Polak[9], Reiko Horikawa[10]

[1]Division of Pediatric Endocrinology and Metabolism, Children's Medical Center, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan,
[2]Department of Endocrinology, Alder Hey Children's NHS Foundation Trust, Liverpool, United Kingdom,
[3]Division of Pediatric Endocrinology, University of Minnesota Medical School, MHealth Fairview Masonic Children's Hospital, Minneapolis, Minnesota, USA,
[4]Novo Nordisk A/S, Søborg, Denmark,
[5]Rocky Mountain Pediatric Endocrinology, Centennial, CO, USA,
[6]Division of Pediatric Endocrinology and Metabolism, MVZ Endokrinologikum Frankfurt am Main, Frankfurt, Germany,
[7]Department of Pediatrics, Severance Children's Hospital, Institute of Endocrinology, Yonsei University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea,
[8]Novo Nordisk A/S, Aalborg, Denmark,
[9]Service d'Endocrinologie, Gynécologie et Diabétologie Pédiatriques, Hôpital Universitaire Necker Enfants Malades Paris, Assistance Publique-Hôpitaux de Paris, Paris, France,
[10]Division of Endocrinology and Metabolism, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan

EO1-4 Effect of Once-Weekly Somatrogon and Once-Daily Somatropin on Body Mass Index and Metabolic Parameters: Post Hoc Analysis of the Pivotal Phase 3 Trial

Mohamad Maghnie[1], Aristides Maniatis[2], Cheri Deal[3], Lawrence Silverman[4], Monica Nijher[5], Michael Wajnrajch[6,7], Marc Thomas[5], Jose Cara[6]

[1]Clinica Pediatrica, IRCCS Istituto Giannina Gaslini, and DINOGMI, University of Genova, Italy,

[2]Rocky Mountain Pediatric Endocrinology, Centennial, CO, USA,

[3]Centre de recherche CHU Ste-Justine, Université de Montréal, Montréal, Canada,

[4]Goryeb Children's Hospital, Morristown, NJ, USA,

[5]Pfizer Ltd, Tadworth, UK,

[6]Pfizer Inc, New York, NY, USA,

[7]New York University, Grossman School of Medicine, New York, NY, USA

English Oral Session 2

10月21日（土）11：25 ～ 11：55　第3会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　鹿島田　健一（東京医科歯科大学発生発達病態学（小児科））

佐竹　栄一郎（ジョスリン糖尿病センター・Genetics and Epidemiology）

★EO2-1 Persistence to growth hormone treatment and clinical characteristics of paediatric patients with growth hormone deficiency: A retrospective database study

Sumito Dateki[1], Yukihito Sato[2], Jun Mori[3]

[1]Dept. of Pediat., Nagasaki Univ. Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan,

[2]Novo Nordisk Pharma Ltd., Tokyo, Japan,

[3]Division of Pediatric Endocrinology and Metabolism, Children's Medical Center, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan

EO2-2 A case of Graves' disease diagnosed after treatment of idiopathic nephrotic syndrome in childhood

Chisato Narita[1], Naoto Nishizaki[2], Noriyuki Takubo[3], Naoto Shimura[1], Toshiaki Shimizu[4]

[1]Dept. of Pediatr., Tokyo Rinkai Hosp.,

[2]Dept. of Pediatr., Juntendo Univ. Sch. of Med., Urayasu Hosp.,

[3]Dept. of Pediatr., Juntendo Univ. Sch. of Med., Juntendo Hosp.,

[4]Dept. of Pediatr., Juntendo Univ. Grad. Sch. of Med.

EO2-3 Long-term effectiveness and safety of growth hormone therapy in Japanese children with short stature due to Noonan syndrome: real-world data

Koji Muroya[1], Masanobu Kawai[2], Hiroyuki Yamagishi[3], Takaaki Endo[4], Alberto Pietropoli[5], Reiko Horikawa[6]

[1]Department of Endocrinology and Metabolism, Kanagawa Children's Medical Center,

[2]Department of Gastroenterology, Nutrition and Endocrinology, Research Institute, Osaka Women's and Children's Hospital,

[3]Division of Pediatric Cardiology, Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine,

[4]Novo Nordisk Pharma Ltd., Medical affairs department, [5]Novo Nordisk Health Care AG,

[6]Division of Endocrinology and Metabolism, National Center for Child Health and Development

一般口演 1　下垂体・成長 1

10 月 19 日（木）16：10 ～ 17：10　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　磯島　豪（虎の門病院小児科）
　　室谷　浩二（神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科）

★ O1-1-1　短時間で評価可能な日本人小児における新しい骨年齢評価法の作製

鈴木　貴大[1]、池側　研人[1]、今野　麻里絵[1]、佐藤　真理[2]、安藏　慎[3]、田中　敏章[4]、
長谷川　行洋[1,5]

[1] 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、[2] 東邦大学医療センター大森病院小児科、
[3] 東京都立大塚病院小児科、[4] たなか成長クリニック、[5] 東京都立多摩北部医療センター小児科

★ O1-1-2　インプリンティング疾患の遺伝子診断法の提唱：Prader-Willi 症候群と Kagami-Ogata 症候群をモデルとして

緒方　勤[1,2]、齋藤　伸治[1]、副島　英伸[1]、鏡　雅代[1]、川井　正信[2]

[1]AMED 難治性疾患実用化研究事業研究班、[2] 厚生労働科研費難治性疾患政策研究事業研究班

O1-1-3　日本人 SHOX 異常症患者に対するソマトロピンの第 III 相臨床試験成績

緒方　勤[1]、深見　真紀[2]、山本　辰義[3]、平井　秀明[3]、高棹　直子[3]、茨木　亮[3]

[1] 浜松医科大学・浜松医療センター、[2] 国立成育医療研究センター研究所、
[3]JCR ファーマ株式会社

O1-1-4　インプリンティング疾患発症に対する生殖補助医療および母親の年齢の影響の解明

原　香織[1]、松原　圭子[1]、中村　明枝[1,2]、佐野　伸一朗[1,3]、井上　毅信[1]、川嶋　明香[1]、
福家　智子[1]、山澤　一樹[1,4]、深見　真紀[1]、緒方　勤[1,5,6]、鏡　雅代[1]

[1] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、[2] 北海道大学病院小児科、
[3] 静岡県立こども病院糖尿病代謝内科、
[4] 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター臨床遺伝センター、[5] 浜松医科大学医化学講座、
[6] 浜松医療センター小児科

O1-1-5　Schaaf-Yang 症候群は小児内分泌科医も知っておくべき疾患である ～本邦の全国疫学調査から～

松原　圭子[1,2]、根岸　豊[3,4]、黒澤　健司[5]、高野　亨子[6]、西山　毅[7]、齋藤　伸治[4]

[1] 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、
[2] 国立成育医療研究センターダイバーシティ研究室、[3] 岐阜県立多治見病院小児科、
[4] 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、
[5] 神奈川県立こども医療センター遺伝科、[6] 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター、
[7] 名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野

O1-1-6　小児頭蓋咽頭腫術後の成長パターン

向山　祐理[1]、森口　駿[1]、滝沢　文彦[1]、小川　敦[1]、小川　哲史[1]、伊藤　純子[1]、福原　紀章[2]、
岡田　満夫[2]、西岡　宏[2]、山田　正三[3]、磯島　豪[1]

[1] 虎の門病院小児科、[2] 虎の門病院間脳下垂体外科、
[3] 森山脳神経センター病院間脳下垂体センター

一般口演２　骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患１

10 月 19 日（木）16：10 ～ 17：10　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　北中　幸子（きたなかこども成長クリニック）
　　皆川　真規（千葉県こども病院内分泌科）

O1-2-1　Persistent and Stable Growth Promoting Effects of Vosoritide in Children With Achondroplasia for Up to 3.5 Years: Results From an Ongoing Phase 3 Extension Study

Takuo Kubota[1], Keiichi Ozono[1], Ravi Savarirayan[2], Louise Tofts[3], Melita Irving[4], William Wilcox[5], CarlosA. Bacino[6], Julie Hoover-Fong[7], RosendoUllot Font[8], Paul Harmatz[9], Frank Rutsch[10], MichaelB. Bober[11], LyndaE. Polgreen[12], Ignacio Ginebreda[13], Mohnike Klaus[14], Joel Charrow[15], Daniel Hoernschemeyer[16], Yasemin Alanay[17], Paul Arundel[18], Shoji Kagami[19], Natsuo Yasui[19], Klane White [20], Howard M. Saal[21], Antonio Leiva-Gea[22], Hiroshi Mochizuki[23], Donald Basel[24], Dania M. Porco[25], Kala Jayaram[25], Elena Fisheleva[26], Sue Lawrinson[26], Jonathan Day[26]

[1]Dept. of Pediatr., Osaka Univ. Sch. of med.,
[2]Murdoch Children's Research Institute, Royal Children's Hospital, and Univ. of Melbourne, Parkville, VIC, Australia,
[3]Kids Rehab, The Children's Hospital at Westmead, Westmead, NSW, Australia,
[4]Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Evelina Children's Hospital, London, UK,
[5]Dept. of Human Genetics, Emory Univ., Atlanta, GA, USA,
[6]Baylor College of Medicine, Houston, TX, USA,
[7]McKusick-Nathans Department of Genetic Medicine, Johns Hopkins University, Baltimore, MD, USA,
[8]Hospital Sant Joan de Déu, Barcelona, Spain,
[9]UCSF Benioff Children's Hospital Oakland, Oakland, CA, USA,
[10]Dept. of General Pediatrics, Muenster Univ. Children's Hospital, Muenster, Germany,
[11]Nemours/Alfred I. du Pont Hospital for Children, Wilmington, DE, USA,
[12]Lundquist Institute for Biomedical Innovation at Harbor–UCLA Medical Center, Torrance, CA, USA,
[13]Hospital Universitario Quirón Dexeus, Barcelona, Spain,
[14]Otto-von-Guericke-Universität, Magdeburg, Germany,
[15]Ann and Robert H. Lurie Children's Hospital of Chicago, Chicago, IL, USA,
[16]University of Missouri–Columbia, Columbia, MO, USA.,
[17]Acibadem Mehmet Ali Aydinlar University, School of Medicine, Istanbul, Turkey.,
[18]Sheffield Children's NHS Foundation Trust, Sheffield Children's Hospital, Sheffield, UK.,
[19]Tokushima University Hospital, Tokushima, Japan., [20]Seattle Children's Hospital, Seattle, WA, USA.,
[21]Cincinnati Children's Hospital Medical Center, University of Cincinnati College of Medicine, Cincinnati, OH, USA.,
[22]Hospital Universitario Virgen de la Victoria, Málaga, Spain.,
[23]Saitama Children's Hospital, Saitama, Japan., [24]Medical College of Wisconsin, Milwaukee, WI, USA.,
[25]BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, USA., [26]BioMarin (U.K.) Limited, London, UK.

O1-2-2　COMP 遺伝子異常を同定した偽性軟骨無形成症の５例：新生児期から乳児期の骨格変化

長谷川　高誠[1]、二川　奈都子[1]、吾郷　祐子[1]、原田　大輔[2]、宮澤　真理[3]、守分　正[4]、田中　弘之[5]、塚原　宏一[1]

[1]岡山大学病院 小児科、[2]JCHO 大阪病院　小児科、[3]高知医療センター　小児科、[4]岩国医療センター　小児科、[5]岡山済生会総合病院　小児科

O1-2-3 Persistence of Growth Promoting Effects in Infants and Toddlers with Achondroplasia: Results in Children Aged Over 2 Years Old from a Phase II Extension Study with Vosoritide

Hiroshi Mochizuki[1], Melita Irving[2], Ravi Savarirayan[3], WilliamW. Wilcox[4], Paul Harmatz[5], John Phillips, III[6], LyndaE. Polgreen[7], Louise Tofts[8], Keiichi Ozono[9], Paul Arundel[10], CarlosA. Bacino[11], Donald Basel[12], Michael B. Bober[13], Joel Charrow[14], Yumiko Kotani[15], Howard M. Saal[16], Lynn Han[17], Ian Sabir[18], Elena Fisheleva[18], Alice Huntsman-Labed[18], Jonathan Day[18]

[1]Saitama Children's Hospital,
[2]Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Evelina Children's Hospital, London, UK,
[3]Murdoch Children's Research Institute, Royal Children's Hospital, and Univ. of Melbourne, Parkville, Victoria, Australia,
[4]Emory University, Atlanta, Georgia, USA,
[5]UCSF Benioff Children's Hospital Oakland, Oakland, California, USA,
[6]Vanderbilt University Medical Center, Nashville, TN, USA,
[7]Lundquist Institute for Biomedical Innovation at Harbor-UCLA Medical Center, Torrance, California, USA,
[8]Kids Rehab, The Children's Hospital at Westmead, Westmead, New South Wales, Australia,
[9]Osaka University Hospital, Osaka, Japan,
[10]Sheffield Children's NHS Foundation Trust, Sheffield Children's Hospital, Sheffield, UK,
[11]Baylor College of Medicine, Houston, Texas, USA,
[12]Medical College of Wisconsin, Milwaukee, Wisconsin, USA,
[13]Nemours /Alfred I. du Pont Hospital for Children, Wilmington, Delaware, USA,
[14]Ann and Robert H. Lurie Children's Hospital of Chicago, Chicago, Illinois, USA,
[15]Tokushima University Hospital, Tokushima, Japan,
[16]Cincinnati Children's Hospital Medical Center, University of Cincinnati College of Medicine, Cincinnati, OH, USA,
[17]BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, California, USA, [18]BioMarin (U.K.) Limited, London, UK

O1-2-4 骨形成不全症：小児期パミドロン酸治療における遺伝型表現型相関～単施設後方視的研究～

市橋　洋輔[1]、石井　智弘[1]、巷岡　祐子[2]、西村　玄[3]、長谷川　奉延[1]

[1]慶應義塾大学医学部小児科学教室、[2]慶應義塾大学医学部放射線科学教室、
[3]武蔵野陽和会病院放射線科

O1-2-5 軟骨無形成症の小児患者を対象とした抗 FGF2-RNA アプタマー前期第 II 相試験

鹿島田　健一[1]、宮田　市郎[2]、窪田　拓生[3]、森　潤[4]、尾﨑　佳代[5]、野中　洋介[6]、中村　義一[6]、大橋　十也[7]、大薗　恵一[8]

[1]東京医科歯科大学発生発達病態学（小児科）、[2]東京慈恵会医科大学小児科学講座、
[3]大阪大学医学部附属病院小児科、[4]大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科、
[5]兵庫県立こども病院代謝内分泌科、[6]株式会社リボミック、
[7]東京慈恵会医科大学医学部看護学科健康科学疾病治療学、[8]大阪大学名誉教授

O1-2-6 FGF23 関連低リン血症性くる病に対するブロスマブ治療の長期的効果

井澤　雅子[1]、上原　健史[1]、深江　俊愛[1]、旗生　なおみ[1]、花川　純子[1]、大庭　真俊[2]、百瀬　たか子[2]、中村　直行[2]、室谷　浩二[1]

[1]神奈川県立こども医療センター 内分泌代謝科、[2]神奈川県立こども医療センター 整形外科

一般口演３　副腎１

10 月 19 日（木）16：10 ～ 17：10　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　石井　智弘（慶應義塾大学医学部小児科）
内木　康博（国立成育医療研究センター内科系専門診療部内分泌代謝科）

★ O1-3-1　本邦初の非古典型コレステロール側鎖切断酵素欠損症の２例：CYP11A1 遺伝子新規バリアントの病的意義の検討

本田　美紗[1,2]、小澁　真実[3]、田中　裕之[4]、綿田　裕孝[3]、後藤　広昌[3]、鳴海　覚志[2]、
石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]
[1] 東京歯科大学市川総合病院小児科、[2] 慶応義塾大学医学部小児科学教室、
[3] 順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学、[4] 東京大学医学部付属病院小児科

★ O1-3-2　ヒドロコルチゾンによる抗炎症作用の応答発現遺伝子の同定

秋葉　和壽[1,2]、松原　圭子[1,3]、鳴海　覚志[1,4]
[1] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[2] 東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科、
[3] 国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティー研究室、[4] 慶應義塾大学医学部小児科

O1-3-3　POLE 機能低下型バリアントによる血液症状を主徴とする新規低身長症候群の同定

中尾　佳奈子[1]、内木　康博[2]、竹内　一朗[3]、菅原　亨[4]、右田　王介[5,6]、井口　晶裕[7]、
松本　公一[7]、秦　健一郎[5]、阿久津　英憲[4]、新井　勝大[3]、石黒　精[7]、鳴海　覚志[1,8]
[1] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[2] 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、[3] 国立成育医療研究センター消化器科、
[4] 国立成育医療研究センター研究所再生医療センター、
[5] 国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部、
[6] 聖マリアンナ医科大学臨床検査医学講座、[7] 国立成育医療研究センター小児がんセンター、
[8] 慶應義塾大学医学部小児科学教室

O1-3-4　花粉症に良く効く健康茶からデキサメタゾン検出にたどり着くまで

高桑　聖、多久和　麻由子
兵庫県立西宮病院小児科

O1-3-5　日本人若年発症家族性アルドステロン症の遺伝的、臨床的特徴

内田　登[1,2]、石井　智弘[2]、西本　紘嗣郎[3]、小原　收[4]、柴田　浩憲[2,5]、石井　加奈子[6,7]、
中野　靖浩[8]、大塚　文男[8]、吉永　正夫[9]、安達　昌功[10]、西澤　衡[11]、細川　悠紀[12]、
長谷川　奉延[2]
[1] 済生会宇都宮病院小児科、[2] 慶應義塾大学医学部小児科学教室、
[3] 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野、
[4] かずさ DNA 研究所ゲノム事業推進部、[5] 川崎市立川崎病院小児科、
[6] 福岡市立こども病院内分泌・代謝科、[7] 九州大学病院小児科、
[8] 岡山大学病院総合内科・総合診療科、[9] 国立病院機構鹿児島医療センター小児科、
[10] 昭和大学医学部小児科、[11] 倉敷中央病院内分泌代謝・リウマチ内科、[12] 倉敷中央病院小児科

O1-3-6　長期生存 MIRAGE 症候群における遺伝学的、免疫学的特徴の経時的変化

古園　美和[1]、古園　美和[1]、牧村　美佳[1]、都　研一[1]、中尾　佳奈子[2]、鳴海　覚志[3]、
萩原　秀俊[4]、關中　佳奈子[4]、關中　悠仁[4]、森谷　邦彦[4]、今井　耕輔[4]
[1] 地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院　、[2] 国立成育医療研究センター、
[3] 慶應義塾大学医学部小児科学教室、[4] 防衛医科大学校医学研究科成長発達臨床医学講座小児科

一般口演４　糖代謝・糖尿病・低血糖１

10 月 19 日（木）16：10 ～ 17：10　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

座長　志賀　健太郎（横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター）
　　鈴木　潤一（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

O1-4-1　小児 1 型糖尿病のインスリン投与法の変化とその後血糖の変化：小児インスリン治療研究会第 5 コホートより

齋藤　玲子[1,2]、山本　幸代[1,3]、後藤　元秀[1,4]、伊藤　善也[1,5]、横道　洋司[1,6]、齋藤　朋洋[1,7]、
滝島　茂[1,8]、立川　恵美子[1,9]、堀川　玲子[1,10]、川名　宏[1,11]、菊池　透[1,11]
[1] 小児インスリン治療研究会、[2] 産業医科大学医学部小児科、
[3] 産業医科大学医学部医学教育担当教員、[4] 産業医科大学産業生態科学研究所職業性中毒学、
[5] 日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域、[6] 山梨大学大学院社会医学講座、
[7] 山梨県立中央病院小児科、[8] 草加市立病院小児科、[9] 東京女子医科大学小児科、
[10] 国立成育医療研究センター生体防御系内科部内分泌・代謝科、[11] 埼玉医科大学小児科

O1-4-2　日本における小児 1 型糖尿病治療の経時的推移とコントロールの関連：小児インスリン治療研究会登録例の検討

山本　幸代[1,2]、後藤　元秀[1,3]、齋藤　玲子[1,4]、伊藤　善也[1,5]、横道　洋司[1,6]、川名　宏[1,7]、
齋藤　朋洋[1,8]、滝島　茂[1,9]、立川　恵美子[1,10]、堀川　玲子[1,11]、菊池　透[1,7]
[1] 小児インスリン治療研究会、[2] 産業医科大学医学部医学教育担当教員、
[3] 産業医科大学職業性中毒学、[4] 産業医科大学小児科、
[5] 日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域、[6] 山梨大学大学院社会医学講座、
[7] 埼玉医科大学小児科、[8] 山梨県立中央病院小児科、[9] 草加市立病院小児科、
[10] 東京女子医科大学小児科、[11] 国立成育医療研究センター内分泌代謝科

O1-4-3　小児 1 型糖尿病での治療方法が HbA1c に与える影響 - 施設間の差異を加味したマルチレベル解析 -

後藤　元秀[1,2]、山本　幸代[1,3]、齋藤　玲子[1,4]、伊藤　善也[1,5]、横道　洋司[1,6]、齋藤　朋洋[1,7]、
滝島　茂[1,8]、立川　恵美子[1,9]、堀川　玲子[1,10]、川名　宏[1,11]、菊池　透[1,11]
[1] 小児インスリン治療研究会、[2] 産業医科大学産業生態科学研究所職業性中毒学、
[3] 産業医科大学医学部医学教育担当教員、[4] 産業医科大学医学部小児科、
[5] 日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域、[6] 山梨大学大学院社会医学講座、
[7] 山梨県立中央病院小児科、[8] 草加市立病院小児科、[9] 東京女子医科大学小児科、
[10] 国立成育医療研究センター生体防御系内科部内分泌・代謝科、[11] 埼玉医科大学小児科

O1-4-4　小児 1 型糖尿病における、Hemoglobin Glycation Index と関連する血糖指標の探索

國米　崇秀[1,2]、鈴木　滋[1,2]、望月　美恵[1,3]、武者　育麻[1,4]、菅原　大輔[1,5]、小林　浩司[1,3]、
小山　さとみ[1,6]、小林　基章[1,7]、雨宮　伸[1,4]、松浦　信夫[1,8]、菊池　透[1,4]
[1] 小児インスリン治療研究会、[2] 旭川医科大学小児科、[3] 山梨大学小児科、[4] 埼玉医科大学小児科、
[5] 自治医科大学附属さいたま医療センター小児科、[6] 獨協医科大学小児科、
[7] こばやしこどもクリニック、[8] 市立美唄病院小児科

O1-4-5　日本小児内分泌学会評議員を対象にした小児糖尿病の重症低血糖に関するアンケート調査～糖代謝委員会報告～

高谷　具純[1,2]、濱田　淳平[1,3]、小川　洋平[1,4]、綾部　匡之[1,5]、伊藤　善也[1,6]、川村　智行[1,7]、菊池　信行[1,8]、志賀　健太郎[1,9]、神野　和彦[1,10]、鈴木　滋[1,11]、鈴木　潤一[1,12]、花木　啓一[1,13]、母坪　智行[1,14]、松井　克之[1,15]、都　研一[1,16]、望月　美恵[1,17]、山本　幸代[1,18]、横田　一郎[1,19]、田久保　憲行[1,20]、菊池　透[1,21]

[1]日本小児内分泌学会糖代謝委員会、[2]千葉大学大学院医学研究院小児病態学、
[3]愛媛大学大学院医学系研究科小児科学、[4]新潟大学医歯学総合病院小児科、
[5]ゆうすずこどもクリニック、[6]日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域、
[7]あべのメディカルクリニック、[8]横浜労災病院小児科、
[9]横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター、[10]県立広島病院小児科、
[11]旭川医科大学小児科、[12]日本大学病院小児科、[13]鳥取県立厚生病院小児科、
[14]さっぽろ小児内分泌クリニック、[15]滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科、
[16]福岡市立こども病院 内分泌・代謝科、[17]独立行政法人国立病院機構甲府病院、
[18]産業医科大学医学部医学教育担当教員、
[19]国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター小児内分泌・代謝内科、
[20]順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科・思春期科、[21]埼玉医科大学病院小児科

O1-4-6　非医療従事者による経鼻グルカゴン製剤使用に関する小児科医を対象としたアンケート調査

松本　真明[1]、池谷　紀衣子[1,2]、曽根原　晶子[2]、洪　聖媛[2]、樋口　アカリ[1]、高吉　倫史[3]、山本　あかね[3]、西影　星二[3]、芳村　魁[3]、上田　真莉子[3]、坊　亮輔[2]、尾﨑　佳代[1]、廣田　勇士[3]、粟野　宏之[4]

[1]兵庫県立こども病院　代謝内分泌科、
[2]神戸大学大学院　医学研究科内科系講座小児科学分野、
[3]神戸大学大学院　医学研究科内科学講座糖尿病・内分泌内科学部門、
[4]鳥取大学　研究推進機構 研究基盤センター

一般口演５　肥満・やせ・栄養・脂質代謝１

10月19日（木）16：10 ～ 17：10　第5会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

座長　花木　啓一（鳥取大学医学部保健学科）
　　原　光彦（和洋女子大学家政学部健康栄養学科）

O1-5-1　香川県小児生活習慣病予防健診により当院受診した家族性高コレストロール血症遺伝子検査施行症例

岩瀬　孝志、井上　依里、入江　加奈子、西岡　克文、近藤　園子、日下　隆
香川大学医学部小児科

O1-5-2　帝王切開出生と３歳時点での小児肥満の関連性　―エコチル調査―

寺下　新太郎[1,2]、松村　健太[3,4]、吉田　丈俊[5]、稲寺　秀邦[3,4]

[1]富山大学学術研究部医学系小児科、[2]国立病院機構富山病院、
[3]富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座、[4]富山大学エコチル調査富山ユニットセンター、
[5]富山大学附属病院周産母子センター

O1-5-3　低身長児の肥満の評価について

望月　貴博、西垣　五月
希望の森成長発達クリニック

O1-5-4　SGLT2 阻害薬を併用し血糖改善を認めた Donohue 症候群の一例

宇都宮　朱里、小野　泰輔、小野　浩明、荒新　修
広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科

O1-5-5　「不健康やせ」のスクリーニングのための BMI SDS 基準の設定－モデル解析による検討　第２報

井ノ口　美香子[1,2]、長島　由佳[1,2]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]

[1]慶應義塾大学保健管理センター、[2]慶應義塾大学医学部小児科

O1-5-6　幼児期のやせに関する保育施設および養育者の認識の現状と課題

多久　葵[1,2]、山本　幸代[2,3]、桑村　真美[2,4]、齋藤　玲子[2]
[1]九州労災病院小児科、[2]産業医科大学小児科学教室、[3]産業医科大学医学教育担当教員、
[4]産業医科大学衛生学教室

一般口演６　糖代謝・糖尿病・低血糖２

10 月 20 日（金）16：10 ～ 17：10　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　向井　徳男（旭川赤十字病院小児科）
　　依藤　亨（伊達赤十字病院第二内科部）

★ O2-6-1　日本人における先天性高インスリン血症の包括的遺伝子解析

樋口　真司[1,2]、渡部　瑤[1]、岩田　康平[1]、山田　勇気[1]、永安　佑衣[2]、橋口　綾乃[2]、
棗谷　沙織[2]、加藤　勝[2]、高橋　透[2]、奥田　徳子[2]、依藤　亨[3]、森　潤[1]
[1]大阪市立総合医療センター　小児代謝・内分泌内科、
[2]大阪市立総合医療センター　遺伝子診療部、[3]伊達赤十字病院

O2-6-2　HK1 intron2 の組織特異的調節領域に新規バリアントを同定した先天性高インスリン血症の 1 家系

末岡　秀文[1]、石井　玲[1,4]、大山　和紗[2]、住川　拓哉[2]、大門　祐介[2]、岩佐　真実[3]、
中村　慧[3]、佐藤　俊哉[4]、鈴木　滋[5]、森川　俊太郎[6]、津川　毅[1]
[1]札幌医科大学小児科学講座、[2]苫小牧市立病院、[3]浦河赤十字病院、[4]岩見沢市立総合病院、
[5]旭川医科大学小児科、[6]北海道大学大学院医学研究院小児科学教室

O2-6-3　ランレオチド、持続血糖モニタリングを用いた先天性高インスリン血症の新たな治療戦略

山野　春樹[1]、家村　綾正[1]、桐野　玄[1]、秀野　公美[2]、齋藤　洋子[1,3]、安達　恵利子[1]、
田嶋　華子[2]、森尾　友宏[1]、鹿島田　健一[1]、高澤　啓[1]
[1]東京医科歯科大学発生発達病態学分野 / 小児科、[2]日本医科大学付属病院小児科、
[3]神奈川県立こども医療センター　遺伝科

O2-6-4　オクトレオチド徐放性製剤で治療している先天性高インスリン血症の男児例

梅木　郁美[1,2]、田山　耕太郎[1]、中川　智博[1,3]、三浦　啓暢[1]、川嶋　明香[1]、島　彦仁[1]、
曽木　千純[1,4]、鈴木　大[1]、菅野　潤子[1]
[1]東北大学病院小児科、[2]岩手県立中央病院小児科、[3]仙台市立病院小児科、
[4]JCHO 仙台病院小児科

★ O2-6-5　日本人における染色体 6q24 関連新生児一過性糖尿病の遺伝学的および臨床的特徴

鈴木　滋[1]、古谷　曜子[1]、緒方　勤[2,3]、國米　崇秀[1]、高橋　悟[1]
[1]旭川医科大学小児科、[2]浜松医科大学小児科、[3]浜松医療センター小児科

O2-6-6　間歇スキャン CGM における血糖変動指数：CV の血糖コントロールに関する臨床的意義

浦上　達彦、寺田　啓輝、桑原　怜未、峯　佑介、青木　政子、鈴木　潤一、森岡　一朗
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

一般口演７　肥満・やせ・栄養・脂質代謝２

10 月 20 日（金）16：10 ～ 17：10　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　蜂屋　瑠見（東京歯科大学市川総合病院小児科）
森　潤（大阪市立総合医療センター）

O2-7-1　グルココルチコイドによるエピゲノム制御を介した骨格筋の代謝リプログラミング
阿南　浩太郎、興梠　健作、永松　扶紗、笹岡　大記、中村　公俊、
熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座

O2-7-2　低出生体重 - 非肥満型高血糖発症モデルマウスに対する成長ホルモン治療の発症予防効果
長野　伸彦、徳永　航、松田　健剛、片山　大地、中崎　公隆、清水　翔一、不破　一将、
青木　亮二、森岡　一朗
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

O2-7-3　小児肥満児の内臓脂肪評価における腹部超音波の有用性
松浦　未紗、菅原　大輔
自治医科大学附属さいたま医療センター小児科

O2-7-4　治療前 FT4 値の追加は川崎病の IVIG 治療反応性予測モデルを改善する
藤本　正伸、橋田　祐一郎、奥野　啓介、妹尾　慎太郎、山口　由起子、難波　範行
鳥取大学医学部周産期・小児医学分野

O2-7-5　ヘパトカイン FGF21 はインスリン抵抗性と相関する
高屋　淳二[1]、大沼　竹紫[1]、野村　直宏[2]、見浪　実紀[2]、田辺　裕子[2]
[1] 河内総合病院小児科、[2] 関西医科大学小児科

O2-7-6　やせの若年成人男性における小児期からの BMI SD スコアの縦断的解析
長島　由佳[1,2]、井ノ口　美香子[1,2]、佐藤　泰憲[3]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]
[1] 慶應義塾大学保健管理センター、[2] 慶應義塾大学医学部小児科学教室、
[3] 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

一般口演８　骨代謝・遺伝子解析

10 月 20 日（金）16：10 ～ 17：10　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　鏡　雅代（国立成育医療研究センター分子内分泌研究部）
伊達木　澄人（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科　小児科学）

★ O2-8-1　短腕擬常染色体領域に切断点を有する二動原体 Y 染色体の発生機序の解明
荻原　康子[1,2]、服部　淳[1,3]、宮戸　真美[1]、小堀　善友[5,6,7]、黒木　陽子[3,4,8]、深見　真紀[1,3]
[1] 国立成育医療研究センター研究所　分子内分泌研究部、
[2] 東北大学大学院医学系研究科　次世代小児医療講座、
[3] 国立成育医療研究センター研究所　ダイバーシティー研究室、
[4] 国立成育医療研究センター研究所　ゲノム医療研究部、
[5] 獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科、
[6] 獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター、
[7] プライベートケアクリニック東京、[8] 国立成育医療研究センター研究所　共同研究管理室

O2-8-2　GNAS 欠失 Pseudohypoparathyroidism 1A 例の全ゲノムメチル化解析による A/B-DMR メチル化維維持必須領域限局化
成澤　宏宗[1,2]、中川　由季絵[3]、磯部　さやか[3]、土屋　恭一郎[3]、矢ケ崎　英晃[2]、中林　一彦[4]、
深見　真紀[1]、鏡　雅代[1]
[1] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、[2] 山梨大学医学部小児科、
[3] 山梨大学医学部糖尿病・内分泌内科、[4] 国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部

O2-8-3　７番染色体母親性ダイソミーにより顕在化した Cystic fibrosis の 1 例
増渕　颯[1]、原　香織[1]、小崎　里華[2]、肥沼　悟郎[3]、小崎　健次郎[4]、深見　真紀[1]、鏡　雅代[1]
[1] 国立成育医療研究センター研究所　分子内分泌研究部、
[2] 国立成育医療研究センター　遺伝診療科、[3] 国立成育医療研究センター　呼吸器科、
[4] 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

O2-8-4　IPEX 症候群に伴う 1 型糖尿病に対する造血幹細胞移植の有効性

中島　佑[1]、島本　太郎[1]、トカン　ヴラッド[1]、安部　希[1]、虫本　雄一[1]、原田　頌隆[1]、
朴　崇娟[1]、園田　素史[1]、江口　克秀[1]、石村　匡崇[1]、都　研一[2]、大賀　正一[1]
[1] 九州大学病院小児科、[2] 福岡市立こども病院内分泌・代謝科

O2-8-5　新規 GNAS スプライスバリアントによる偽性副甲状腺機能低下症 Ia の 1 女児例

佐野　伸一朗[1]、岩本　彰太郎[2]、松下　理恵[3]、藤澤　泰子[4]、緒方　勤[4,5]
[1] 静岡県立こども病院　糖尿病･代謝内科、[2] 三重大学　小児･AYA がんトータルケアセンター、
[3] 京都大学大学院　健康解析学講座薬剤疫学分野、[4] 浜松医科大学小児科、
[5] 浜松医療センター小児科

O2-8-6　全エクソーム解析で病的バリアント未同定骨系統疾患患者に対する全ゲノム解析有効性の検討

山本　賢一[1,2,3]、大幡　泰久[2]、藤原　誠[2]、武鑓　真司[2]、石見　壮史[2]、山田　知絵子[2]、
齋藤　広幸[2]、中野　由佳子[2]、中山　尋文[2,4]、北岡　太一[2]、窪田　拓生[2]、大薗　恵一[2]
[1] 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座、
[2] 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、[3] 大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学、
[4] 大阪大学歯学部歯学研究科顎顔面口腔外科学教室

一般口演９　骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患２

10 月 20 日（金）16：10 ～ 17：10　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

座長　窪田　拓生（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）
　　長谷川　高誠（岡山大学病院　小児科）

O2-9-1　ビスフォスフォネート製剤による点滴治療から内服治療へ切り替えた骨形成不全症患者の後方視的検討

加藤　俊輔、福田　太郎、石川　琢也、水谷　陽貴、濱島　崇
あいち小児保健医療総合センター

O2-9-2　1 歳 6 か月より Letrozole を投与した McCune-Albright 症候群の 4 歳女児例

山田　知絵子、窪田　拓生、中山　尋文、大幡　泰久、北岡　太一、大薗　恵一
大阪大学大学院医学系研究科小児科学

O2-9-3　当院で経験した軟骨無形成症患者の成長ホルモンおよびボソリチド投与に伴う成長速度の比較検討

中村　幸恵、浅井　眞穂、田島　敏広
自治医科大学小児科

O2-9-4　小児の低カルシウム血症に対するグルコン酸カルシウム経静脈投与の期間、量の検討

本間　丈博[1,2]、池側　研人[1]、長谷川　行洋[1,2]
[1] 東京都立小児総合医療センター、[2] 多摩北部医療センター

O2-9-5　成長ホルモンからボソリチドへ治療移行した軟骨無形成症の年成長率の変化

北岡　太一[1]、齋藤　広幸[1]、中山　尋文[1,2]、植田　郁実[1]、石見　壮史[1]、山田　知絵子[1]、
中道　龍哉[1]、山本　賢一[1,3]、中野　由佳子[1]、藤原　誠[1]、大幡　泰久[1]、窪田　拓生[1]、
大薗　恵一[1]
[1] 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、[2] 大阪大学歯学研究科顎顔面口腔外科学、
[3] 大阪大学大学院医学系研究科生命育成看護学

O2-9-6　幼児期の骨幹端異形成症が改善し MMP13 遺伝子に病的バリアントを同定した回復性骨幹端異形成症 1 型の 1 家系

堀　友博[1,2]、松本　英樹[1]、森　真以[1]、笹井　英雄[1,2]、小関　道夫[1]、川本　典生[1]、
大西　秀典[1,2]
[1] 岐阜大学大学院医学系研究科小児科学、
[2] 岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター

一般口演 10　下垂体・成長2

10 月 20 日（金）16：10 ～ 17：10　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

座長　伊藤　善也（日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域）
曽根田　瞬（たなか成長クリニック／聖マリアンナ医科大学 小児科）

O2-10-1 出生順位と出生時から 4 歳までの成長の関連：エコチル調査

吉田　あや[1]、大矢知　真希[1]、山口　直哉[1,2]、鈴木　敦詞[1,3]、青山　幸平[1]
[1] 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、[2] 一宮市立市民病院小児科、
[3] 岐阜県立多治見病院小児科

O2-10-2 プラダー・ウィリ症候群小児の体脂肪率および脂肪分布は、重症成長ホルモン分泌不全性低身長患者と類似する

小泉　美紀子[1,2]、恵谷　ゆり[1]、小西　絢子[1]、位田　忍[3]、川井　正信[1,4]
[1] 大阪母子医療センター消化器内分泌科、[2] 淀川キリスト教病院小児科、
[3] 大阪母子医療センター臨床検査科、[4] 大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門

O2-10-3 臨床的に Noonan 症候群と診断し、ERF フレームシフトバリアントを有する母児例

平野　泰大[1,2]、黒田　友紀子[3]、室谷　浩二[2]、鳴海　覚志[4]、石井　智弘[4]、長谷川　奉延[4]、黒澤　健司[3]
[1] 平塚市民病院小児科、[2] 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、
[3] 神奈川県立こども医療センター遺伝科、[4] 慶應義塾大学小児科学教室

O2-10-4 小児中枢性尿崩症に対するデスモプレシン口腔内崩壊錠治療の薬物動態　尿量と尿比重の経時的変化

小川　哲史、森口　駿、向山　祐理、滝沢　文彦、小川　敦、伊藤　純子、磯島　豪
虎の門病院小児科

O2-10-5 脳腫瘍治療後、下垂体機能低下症患者におけるＧＨ補充療法と血糖値の関係

河原　さくら[1]、岩淵　敦[1,2]、黒沼　大樹[1]、高橋　健一[1]、岩崎　友哉[1]、矢板　克之[1]、山崎　達美[1]、長友　公美絵[1]、穂坂　翔[1]、高田　英俊[1,2]
[1] 筑波大学附属病院、[2] 筑波大学小児科　医学医療系

O2-10-6 中隔視神経異形成症 18 例の臨床的・内分泌学的検討

簇生　なおみ[1,2]、深江　俊愛[1]、上原　健史[1]、滝崎　奈穂[1]、井澤　雅子[1]、花川　純子[1]、室谷　浩二[1]
[1] 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、[2] 慶應義塾大学医学部小児科

一般口演 11　性腺・性分化疾患・思春期 1

10 月 21 日（土）10：45 ～ 11：25　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　川井　正信（大阪母子医療センター　消化器・内分泌科）
深見　真紀（国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部）

★ O3-11-1 *DHX37* は日本人の精巣退縮症候群の最も多い原因遺伝子である

志村　和浩[1]、市橋　洋輔[1]、中野　さつき[1,2]、佐藤　武志[1]、濱島　崇[3]、沼沢　慶太[4]、鳴海　覚志[1]、石井　智弘[1]、長谷川　奉延[1]
[1] 慶應義塾大学医学部小児科学教室、[2] さいたま市立病院小児科、
[3] あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科、
[4] 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

O3-11-2 機能活性をもつエンハンサーの塩基配列解析は新規性腺発生における転写制御機構を明らかにする

桐野　玄、中川　竜一、高澤　啓、我有　茉希、鹿島田　健一
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野

O3-11-3 完全型アンドロゲン不応症における小児期の鼠径ヘルニア累積罹患率

佐藤　武志、中野　さつき、志村　和浩、市橋　洋輔、内田　登、柴田　浩憲、本田　美紗、鳴海　覚志、天野　直子、井ノ口　美香子、石井　智弘、長谷川　奉延
慶應義塾大学医学部小児科

O3-11-4 DHX37 疾患原因バリアントを有する 46,XY DSD 患者が示す多様な臨床症状

福井　由宇子[1]、齋藤　大輔[1]、服部　淳[1]、鳴海　宏子[1,2]、五十嵐　麻希[1]、上原　絵理香[1,3]、島　彦仁[4]、菅野　潤子[4]、長谷川　行洋[2]、堀川　玲子[3]、深見　真紀[1]
[1]国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、[2]東京都立小児医療センター・内分泌代謝科、[3]国立成育医療研究センター・小児内科系専門診療部、[4]国立大学法人東北大学大学院・小児科

一般口演 12　性腺・性分化疾患・思春期２

10 月 21 日（土）11：25 ～ 12：05　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　大津　義晃（群馬大学大学院医学系研究科小児科学）
佐野　伸一朗（静岡県立こども病院 糖尿病・代謝内科）

O3-12-1 遺伝学的解析および蛋白機能解析にて確定診断された HSD17B3 異常症 2 例におけるステロイドプロフィール解析

藤澤　泰子[1]、増永　陽平[1]、矢澤　隆志[2]、佐野　伸一朗[3]、才津　浩智[4]、谷川　渉[1]、緒方　勤[1,4,5]
[1]浜松医科大学小児科、[2]旭川医科大学生化学講座、[3]静岡県立こども病院糖尿病代謝内科、[4]浜松医科大学医科学講座、[5]浜松医療センター小児科

O3-12-2 低ゴナドトロピン性性腺機能低下症既知責任遺伝子パネルを用いたバリアント解析

鈴木　江莉奈[1]、松原　圭子[1,2,3]、黒木　陽子[2,3,4]、緒方　勤[5]、深見　真紀[1,2]
[1]国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[2]国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、
[3]国立成育医療研究センター研究所共同研究管理室、
[4]国立成育医療研究センター研究所ゲノム医療研究部、[5]浜松医科大学小児科

O3-12-3 Klinefelter 症候群 9 症例の診断時期と診断後経過の検討

福田　明子[1]、大沼　真輔[1]、松村　知美[1]、杉浦　愛子[1]、牧　美穂[1]、福岡　智哉[1]、橘　真紀子[1]、木村　武司[1]、山本　哲史[1]、荒堀　仁美[1]、北畠　康司[1]、窪田　拓生[1]、三善　陽子[1,2]、大薗　恵一[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科小児科、[2]大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科

O3-12-4 GH 治療中の GHD 男子の思春期開始時の生物学的、内分泌学的、成長学的評価

田中　敏章[1]、曽根田　瞬[1,2]、岸　健太郎[1,3]、佐藤　直子[1,4]、野田　雅裕[1,5]、
[1]たなか成長クリニック、[2]聖マリアンナ医科大学小児科、[3]たちばな台クリニック、[4]東京大学医学部小児科、[5]公立昭和病院小児科

一般口演 13　甲状腺１

10 月 21 日（土）10：45 ～ 11：25　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　鳴海　覚志（慶應義塾大学医学部小児科学教室）
沼倉　周彦（埼玉医科大学ゲノム医療科・小児科）

O3-13-1 GH 療法開始後直後の２型脱ヨード酵素活性増加が治療後の獲得身長 SD に負の影響を与える

今田　寛[1,2,3,4]、高谷　具純[1,4]、南谷　幹史[2]、成瀬　裕紀[3]、眞山　和徳[4]、金野　友紀[1]、濱田　洋通[1]
[1]千葉大学医学部附属病院小児科、[2]帝京大学ちば総合医療センター小児科、[3]松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科、[4]成田赤十字病院小児科

O3-13-2 先天性甲状腺機能低下症における FT3/FT4 比の検討

山内　建、境内　愛実、友邊　雄太郎、友滝　清一、岩永　甲午郎、河井　昌彦、滝田　順子
京都大学医学部附属病院小児科

O3-13-3 甲状腺機能が維持されているダウン症患者の 抗 TSH 受容体抗体保有に関する小児から若年成人にかけての評価

土岐　真智子[1,2]、花川　純子[1]、簇部　なおみ[1]、上原　健史[1]、滝崎　奈穂[1]、深江　俊愛[1]、井澤　雅子[1]、黒澤　健司[3]、室谷　浩二[2]
[1]神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、[2]国立病院機構東京医療センター小児科、[3]神奈川県立こども医療センター遺伝科

O3-13-4 NKX2-1 遺伝子関連疾患の臨床像

福井　貞弘、石丸　雅矩、谷本　英里、中村　千鶴子、宇治田　凪紗、宮城　元、五十嵐　瑞穂、鹿島　健幹、土井　響、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子
国立成育医療研究センター

一般口演 14　甲状腺２

10 月 21 日（土）11：25 ～ 12：05　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　鬼形　和道（島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター）
長崎　啓祐（新潟大学医歯学総合病院小児科）

O3-14-1 低酸素曝露下の神経細胞への甲状腺ホルモン投与によるヒストン修飾変化

阿部　清美[1,2,3,4]、Li Jianrong[3,4]、Liu Yan-Yun[3,4]、Brent Gregory A[3,4]
[1]東京都済生会中央病院小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科、
[3]Div. of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Dep. of Medicine and Physiology, David Geffen School of Medicine at UCLA、
[4]Veterans Affairs Greater Los Angeles Healthcare System

O3-14-2 単純性急性化膿性甲状腺炎の原因菌とその薬剤感受性

岩山　秀之[1]、杉本　宰輝[2]、小野　真[3]、北川　幸子[1,4]、河原　幸平[1]、山川　紀世志[1]、宮本　亮佑[1]、金子　健一朗[5]、中野　正吾[6]、藤本　保志[7]、高木　潤子[8]、奥村　彰久[1]、城田　千代栄[9]、田井中　貴久[9]、内田　広夫[9]、滝島　茂[10]、高澤　啓[11,12]、長妻　美沙子[13]、鹿島田　健一[12]
[1]愛知医科大学医学部小児科学講座、[2]愛知医科大学病院卒後臨床研究センター、
[3]東京ベイ浦安市川医療センター小児科、[4]総合大雄会病院小児科、
[5]愛知医科大学医学部外科学講座小児外科、[6]愛知医科大学医学部外科学講座乳腺･内分泌外科、
[7]愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座、
[8]愛知医科大学医学部内科学講座内分泌・代謝内科、
[9]名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学講座、[10]草加市立病院小児科、
[11]川口市立医療センター小児科、[12]東京医科歯科大学発生発達病態分野小児科、
[13]JA とりで総合医療センター

O3-14-3 超低出生体重児の胎便関連性腸閉塞に対するヨード含有造影剤投与後の尿中ヨードと甲状腺機能の推移

下風　朋章、斎藤　朋子、勝又　薫、稲垣　佳典、柴崎　淳、豊島　勝昭
神奈川県立こども医療センター新生児科

O3-14-4 パネル解析未診断の甲状腺ホルモン合成障害疑い 17 例に対する新規ヨードトランスポーター遺伝子の探索

鈴木　敦詞[1,2]、大矢知　真希[2]、吉田　あや[2]、山口　直哉[2,3]、田中　達之[4]、才津　浩智[5]、水野　晴夫[6]、青山　幸平[2]
[1]岐阜県立多治見病院小児科、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、
[3]一宮市立市民病院小児科、[4]豊橋市民病院小児科、[5]浜松医科大学医学部医化学講座、
[6]藤田医科大学医学部小児科学

一般口演 15　CCS・水電解質・その他 1

10 月 21 日（土）10：45 ～ 11：25　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

座長　安達　昌功（昭和大学医学部小児科）
菅野　潤子（東北大学大学院医学系研究科　発生・発達医学講座　小児病態学分野）

O3-15-1 当院における小児がん治療後内分泌合併症の移行期医療の現状と課題

長井　静世[1]、田川　晃司[1,2]、塚村　篤史[1]、田中　基意[1]、筒井　英美[1]、松川　幸弘[1]、池田　勇八[1]、坂本　謙一[1]、松井　克之[1,3]、多賀　崇[1]、丸尾　良浩[1]

[1] 滋賀医科大学　小児科学講座、[2] 札幌徳洲会病院、[3] 滋賀県立小児保健医療センター

O3-15-2 小児がん治療後患者の体組成の特徴

青木　政子、寺田　啓輝、植野　優、金澤　剛二、田邉　聡美、峯　佑介、平井　麻衣子、下澤　克宜、長野　伸彦、鈴木　潤一、庄司　保子、谷ケ崎　博、浦上　達彦、森岡　一朗

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

O3-15-3 小児・AYA 世代がん患者の栄養管理に関する小児内分泌医の診療実態調査

三善　陽子[1,2,3]、橘　真紀子[2]、長井　直子[4]、赤尾　正[5]、安達　昌功[3]、伊藤　純子[3]、鹿島田　健一[3]、菅野　潤子[3]、佐藤　武志[3]、長井　静世[3]、堀　友博[3]、堀川　玲子[3]、室谷　浩二[3]、森川　俊太郎[3]、岡田　賢[3]

[1] 大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室、
[2] 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、[3] 日本小児内分泌学会 CCS・内分泌腫瘍委員会、
[4] 大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部、
[5] 大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科給食経営管理学第一研究室

O3-15-4 小児がん治療中の低栄養は小児がん経験者の低身長のリスク因子である

和田　珠希[1]、畑　彩葉[1]、前山　隆智[1]、位田　忍[2]、樋口　紘平[3]、佐藤　真穂[3]、澤田　明久[3]、惠谷　ゆり[1]、川井　正信[1,4]

[1] 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、[2] 大阪母子医療センター臨床検査科、
[3] 大阪母子医療センター血液・腫瘍科、[4] 大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門

一般口演 16　糖代謝・糖尿病・低血糖 3

10 月 21 日（土）11：25 ～ 12：05　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

座長　会津　克哉（埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科）
松井　克之（滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科）

O3-16-1 ケトン性低血糖を契機に診断されたヘテロ接合 PHKA2 p.G991A バリアントを有した 2 歳女児例

真玉　千紘[1,2]、小林　弘典[3]、和田　啓介[4]、鞁嶋　有紀[4]、山田　健治[4]、加藤　文英[2]、鬼形　和道[4]、竹谷　健[4]

[1] 松江赤十字病院小児科、[2] 島根県立中央病院小児科、[3] 島根大学医学部附属病院検査部、
[4] 島根大学医学部小児科

O3-16-2 日本人に多く見られる PHKA2 遺伝子変異を認めた糖原病Ⅸ a 型の 3 症例

上原　健史[1]、深江　俊愛[1]、滝崎　奈穂[1]、簇生　なおみ[1]、井澤　雅子[1]、花川　純子[1]、黒澤　健司[2]、室谷　浩二[1]

[1] 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、[2] 神奈川県立こども医療センター遺伝科

O3-16-3 インスリンポンプ治療時の残存インスリン時間が食後の血糖管理に与える影響

根本　千裕、松井　克之

滋賀県立小児保健医療センター

O3-16-4 新潟市学校糖尿病検診緊急連絡システムの実績報告

小川　洋平、長崎　啓祐、入月　浩美、澤野　堅太郎、柴田　奈央、小貫　孝則、廣嶋　省太、齋藤　昭彦

新潟大学医歯学総合病院小児科

ショートオーラル１　下垂体・成長３

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　第 1 会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　岡島　道子（金沢大学附属病院）

都　研一（地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院内分泌・代謝科）

SO1-1-1 血中抗ラブフィリン 3A 抗体陽性により診断されたリンパ球性漏斗下垂体後葉炎の３歳女児例

岩田　康平、渡部　瑤、山田　勇気、樋口　真司、森　潤

大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科

SO1-1-2 プラダー・ウィリ症候群日本人患者の体組成改善を目的とするソマトロピン治療の国内第３相試験結果

川井　正信[1]、堀川　玲子[2]、村上　信行[3]、室谷　浩二[4]、藤澤　泰子[5]、星野　優子[6]、岡山　明史[6]、江端　望[7]、緒方　勤[5]

[1]大阪母子医療センター消化器・内分泌科、[2]国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、[3]獨協医科大学埼玉医療センター小児科、[4]神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、[5]浜松医科大学小児科、[6]ファイザーＲ＆Ｄ合同会社、[7]ファイザー株式会社

SO1-1-3 当院における Noonan 症候群に対する GH 治療の安全性の検討

石丸　雅矩、福井　貞弘、谷本　英里、中村　千鶴子、宇治田　凪紗、宮城　元、五十嵐　瑞穂、鹿島　健幹、土井　響、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子

国立成育医療研究センター内分泌代謝科

SO1-1-4 IGF1R 異常症と 15q26 重複症候群から考える IGF1 受容体の身長への影響

田中　裕之[1]、足立　夏帆[1]、佐藤　綾美[1]、千葉　有美子[1]、黒田　友紀子[1]、鞍嶋　有紀[2]

[1]東京大学医学部附属病院小児科、[2]島根大学医学部小児科学教室

SO1-1-5 Temple 症候群に対する成長ホルモン治療：３例の臨床経過

山口　直哉[1,2]、大矢知　真希[2]、吉田　あや[2]、鈴木　敦詞[2,3]、田中　達之[4]、青山　幸平[2]

[1]一宮市立市民病院小児科、[2]名古屋市立大学大学院医学研究科　新生児・小児医学分野、[3]岐阜県立多治見病院小児科、[4]豊橋市民病院小児科

SO1-1-6 低身長患者における初診時の身長 SDS, BMI-SDS、検査結果の後方視的検討

伊東　英美、長谷川　泰浩、楠森　智子、八重　敦博、池田　泰之、石井　裕代、榊原　杏美、平野　恭悠、東　純史、木島　衣理、山本　威久

箕面市立病院

SO1-1-7 日齢 1 に心停止し、低血糖・矮小陰茎・副腎低形成の合併から先天性複合型下垂体機能低下症と診断された一例

足立　夏帆、向井　丈雄、佐藤　綾美、千葉　有美子、田中　裕之

東京大学医学部附属病院　小児科

SO1-1-8 当センターにおける超低出生体重児の身長発育

前山　隆智[1]、木本　裕香[2]、畑　彩葉[1]、和田　珠希[1]、吉田　美寿々[2]、平野　慎也[2]、恵谷　ゆり[1]、和田　和子[2]、川井　正信[1,3]

[1]大阪母子医療センター消化器・内分泌科、[2]大阪母子医療センター新生児科、[3]大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門

SO1-1-9 学校健診における新たな成長曲線異常判定プログラムの作成の取り組み

鞍嶋　有紀[1]、安部　滉人[2]、外谷　昭洋[2]、和田　啓介[1]、小林　弘典[3]、鬼形　和道[4]、竹谷　健[1]

[1]島根大学医学部小児科、[2]松江工業高等専門学校電子制御工学科、[3]島根大学医学部附属病院検査部、[4]島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター

SO1-1-10 視床下部下垂体障害を合併した MECP2 重複症候群の一例

水谷　陽貴[1,2]、齋藤　洋子[3]、上原　健史[2]、簇生　なおみ[2]、花川　純子[2]、黒澤　健司[3]、濱島　崇[1]、室谷　浩二[2]

[1]あいち小児保健医療総合センター　内分泌代謝科、[2]神奈川県立こども医療センター　内分泌代謝科、[3]神奈川県立こども医療センター　遺伝科

ショートオーラル2　骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患3

10月19日（木）17：20 ～ 18：20　第2会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　大幡　泰久（大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学）
　　鎌崎　穂高（F ビレッジこどもクリニック）

SO1-2-1 軟骨無形成症および軟骨低形成症における成長ホルモンの成人身長に対する効果の検討

中山　尋文[1,2]、窪田　拓生[1]、北岡　太一[1]、植田　郁実[1]、石見　壮史[1]、中道　龍哉[1]、
山田　知絵子[1]、齋藤　広幸[1]、山本　賢一[1,3]、藤原　誠[1]、大幡　泰久[1]、大薗　恵一[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科小児科学、[2]大阪大学歯学研究科顎顔面口腔外科学、
[3]大阪大学大学院医学系研究科生命育成看護学

SO1-2-2 Quantitative CT 法骨密度との相関に基づく Turner 症候群 DXA 法骨密度算出法 (areal/volumetric BMD) の再評価

宗永　健志[1,2]、池側　研人[1]、長谷川　行洋[1,2]
[1]東京都立小児総合医療センター内分泌代謝科、[2]慶應義塾大学医学部小児科学教室

SO1-2-3 軟骨無形成症 / 低形成症に対する成長ホルモン治療効果に影響を与える臨床因子の探索

原田　大輔[1]、上山　薫[1]、柏木　博子[1]、田中　弘之[2]、清野　佳紀[1]
[1]地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院　小児科、[2]岡山済生会総合病院　小児科

SO1-2-4 RPL13 遺伝子変異による脊椎骨端骨幹端異形成症の 1 例

大高　新[1]、高橋　郁子[1]、野口　篤子[1]、山田　茉未子[2]、鈴木　寿人[2]、小崎　健次郎[2]、
高橋　勉[1]
[1]秋田大学大学院医学研究科小児科学講座、[2]慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

SO1-2-5 FGFR3 関連低身長症の 1 家系

森谷　勇介[1]、横山　理沙[1]、師田　悠[1]、柴崎　拓実[1]、中村　千鶴子[1]、原　洋祐[1]、
松浦　宏樹[1]、水野　史[1]、柴田　奈央[2]、長崎　啓祐[2]、中沢　洋三[1]
[1]信州大学医学部小児医学教室、[2]新潟大学医歯学総合病院小児科

SO1-2-6 A case of papilledema in Camurati-Engelmann disease treated effectively with prednisolone

浅井　眞穂[1]、五味　玲[2]、茨木　信博[3]、渡邉　英明[4]、吉川　一郎[4]、中俣　彰裕[5]、
中村　幸恵[1]、田島　敏広[1]
[1]自治医科大学附属病院小児科、[2]自治医科大学附属病院小児脳神経外科、
[3]いばらき眼科クリック、[4]自治医科大学附属病院小児整形外科、
[5]自治医科大学附属病院放射線科

SO1-2-7 歯科受診を契機に低ホスファターゼ症が疑われ当院紹介となった 3 例について - 歯科連携の重要性 -

梁　偉博、河野　智敬、田嶋　朝子、望月　弘、会津　克哉
埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科

SO1-2-8 FGF23 上昇を伴わない重症低リン血症性くる病の 1 例

滝島　茂[1,2]、松田　希[1]、佐藤　薫[1]、高澤　啓[2]、鹿島田　健一[2]、長谷川　毅[1]
[1]草加市立病院診療部小児科、
[2]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学（小児科）

SO1-2-9 鎖骨頭蓋異形成 3 例の臨床経過のまとめ

妹尾　慎太郎、山口　由起子、藤本　正伸、難波　範行
鳥取大学医学部周産期・小児医学分野

SO1-2-10 原発性性腺機能低下症を合併した Cockayne 症候群の男児例

堀　尚明[1]、草野　知江子[1]、高橋　修平[1]、森脇　真一[3]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]
[1]SUBARU 健康保険組合太田記念病院小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科、
[3]大阪医科薬科大学皮膚科

ショートオーラル３　副腎・甲状腺

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　天野　直子（さいたま市立病院小児科）
　　高澤　啓（東京医科歯科大学発生発達病態学分野／小児科）

SO1-3-1 21- 水酸化酵素欠損症における 3 歳時のヒドロコルチゾン内服量は、10 歳時の BMI と正相関する。

畑　彩葉[1]、前山　隆智[1]、和田　珠希[1]、位田　忍[2]、恵谷　ゆり[1]、川井　正信[3]

[1] 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、[2] 大阪母子医療センター臨床検査科、
[3] 大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門

SO1-3-2 内分泌性高血圧 8 症例の病因と臨床像

谷本　英里、石丸　雅矩、中村　千鶴子、福井　貞弘、宇治田　凪紗、宮城　元、五十嵐　瑞穂、鹿島　健幹、土井　響、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子

国立研究開発法人国立成育医療研究センター

SO1-3-3 LC-MS/MS を用いた前思春期小児のテストステロン、エストラジオール産生における副腎の働きに関する検討

池側　研人[1]、今野　麻里絵[1,2]、長谷川　行洋[1,3]

[1] 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、[2] 慶応義塾大学医学部小児科学教室、
[3] 多摩北部医療センター小児科

SO1-3-4 新規 VHL 病的バリアントによる家族性両側褐色細胞腫例から考える遺伝学的解析の重要性

鈴木　友梨[1]、家村　綾正[1]、酢谷　明人[4]、高澤　啓[1]、高木　正稔[1]、明石　巧[3]、岡本　健太郎[2]、鹿島田　健一[1]、森尾　友宏[1]

[1] 東京医科歯科大学病院小児科、[2] 東京医科歯科大学病院小児外科、
[3] 東京医科歯科大学病院病理部、[4] 川口市立医療センター小児科

SO1-3-5 双胎同胞の診断を契機に早期介入しえた 21 水酸化酵素欠損症の男児例

白川　詩織[1]、山野　春樹[1]、家村　綾正[1]、安達　恵利子[1]、中谷　久恵[1]、桐野　玄[1]、我有　茉希[1]、勝屋　恭子[2]、酢谷　明人[3]、市川　知則[2]、森尾　友宏[1]、高澤　啓[1]、鹿島田　健一[1]

[1] 東京医科歯科大学病院小児科、[2] 川口市立医療センター新生児集中治療科、
[3] 川口市立医療センター小児科

SO1-3-6 汎下垂体機能低下症に合併したバセドウ病により副腎不全が疑われた 1 例

柴田　奈央[1]、廣嶋　省太[1]、小貫　孝則[1]、澤野　堅太郎[1]、入月　浩美[1,2]、小川　洋平[1]、長崎　啓祐[1]

[1] 新潟大学医歯学総合病院小児科、[2] 新潟大学総合病院遺伝医療センター

SO1-3-7 尿中ステロイドプロフィル解析を機にチトクローム P450 酸化還元酵素欠損症の診断に至り、性別変更した 3 歳男児例

田嶼　朝子[1]、梁　偉博[1]、河野　智敬[1]、望月　弘[1]、吉澤　信輔[2]、柴田　浩憲[3]、長谷川　奉延[3]、深見　真紀[4]、会津　克哉[1]

[1] 埼玉県立小児医療センター代謝・内分泌科、[2] 埼玉県立小児医療センター泌尿器科、
[3] 慶應義塾大学医学部小児科学教室、[4] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部

SO1-3-8 神経学的後遺症なく軽快した先天性副腎皮質過形成関連脳症の 1 例

桑原　健輔[1]、澤野　堅太郎[2]、渡辺　健一[1]、長崎　啓祐[2]

[1] 長岡赤十字病院小児科、[2] 新潟大学医歯学総合病院小児科

SO1-3-9 新規遺伝子バリアントを認めた IGSF1 異常症 2 症例の検討

笹岡　大記[1]、永松　扶紗[1]、阿南　浩太郎[1]、間部　裕代[2]、中村　公俊[1]

[1] 熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座、[2] 間部病院　小児科

SO1-3-10 ACTH・TSH・PRL 分泌不全と右内頚動脈形成異常を呈した IGSF1 異常症の 1 例

天野　直子[1,2]、渡邊　浩美[3]、志村　和浩[2]、本田　美紗[2]、鳴海　覚志[2]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]

[1] さいたま市立病院小児科、[2] 慶應義塾大学医学部小児科、[3] さいたま市立病院放射線科

ショートオーラル４　糖代謝・糖尿病・低血糖４

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

座長　阿部　裕樹（新潟市民病院小児科）
　　平井　洋生（公立学校共済組合四国中央病院・小児科）

SO1-4-1 持続血糖測定が治療方針の決定に寄与した膵亜全摘後先天性高インスリン血症の 1 例
瑞慶覧　宏彰[1]、秋葉　和壽[1,2]、樋口　真司[3]、森　潤[3]、依藤　亨[4]、長谷川　行洋[1,5]
[1] 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
[2] 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[3] 大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科、[4] 伊達赤十字病院第二内科部、
[5] 多摩北部医療センター小児科

SO1-4-2 早期に発見される 1 型糖尿病に対してインスリン補充開始はその後の内因性インスリン分泌能に影響を与えるか
志賀　健太郎、北尾　牧子、沼沢　慶太
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

SO1-4-3 インスリン治療導入前に低血糖と食後高血糖を認めた 1A 型糖尿病の３例
桑村　真美[1,2]、齋藤　玲子[1]、緒方　愛実[1]、山本　幸代[1,3]
[1] 産業医科大学小児科、[2] 産業医科大学衛生学、[3] 産業医科大学医学部医学教育担当教員

SO1-4-4 発症時から CGM を使用・継続した小児 1 型糖尿病の HbA1c は良好である
神野　和彦、壷井　史奈
県立広島病院小児科

SO1-4-5 自閉症スペクトラム症を持つ 1 型糖尿病の３例
森田　智[1]、井上　一利[1]、川畑　俊聡[1]、飯田　昌子[2]、小倉　美紀[1]、酒井　勲[1]
[1] 鹿児島生協病院小児科、[2] 鹿児島大学法文教育学域法文学系法文学部

SO1-4-6 小児救急受診時のストレス高血糖の危険因子
永田　知裕、赤星　祥伍、今野　麻里絵、長谷川　行洋
東京都立小児総合医療センター内分泌代謝科

SO1-4-7 １型糖尿病診療用フィードバックシート：中間報告（導出研究）と共同研究のお誘い（検証研究）
赤星　祥伍[1,2]、永田　知裕[1]、友常　雅子[2]、瑞慶覧　宏彰[1]、池側　研人[1,2]、今野　麻里絵[1]、
森川　和彦[2]、滝島　茂[3]、鹿島田　健一[4]、長谷川　行洋[1,5]
[1] 東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科、
[2] 東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター、[3] 草加市立病院小児科、
[4] 東京医科歯科大学病院小児科、[5] 多摩北部医療センター小児科

SO1-4-8 １型糖尿病と肝障害を認めた A20 ハプロ不全症
近藤　大樹、和田　泰格、下舘　歩惟、吉田　太郎、赤坂　真奈美
岩手医科大学附属病院小児科

SO1-4-9 経過が異なる新生児糖尿病の３例
和田　泰格[1]、高橋　明雄[2]、近藤　大樹[3]、下舘　歩惟[4]、石川　健[1]、塩畑　健[1]、菅原　啓司[1]、
千田　悠太郎[1]、赤坂　真奈美[1]
[1] 岩手医科大学医学部小児科学講座、[2] 子どもは未来もりおかこどもクリニック、
[3] 岩手県立大船渡病院小児科、[4] 岩手県立二戸病院小児科

SO1-4-10 1 型糖尿病診断時の自覚症状の有無はその後の血糖コントロールに影響するか
田中　基意[1]、田川　晃司[3]、塚村　篤史[1]、筒井　英美[1]、長井　静世[1]、松井　克之[1,2]、
丸尾　良浩[1]
[1] 滋賀医科大学小児科学講座、[2] 滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科、
[3] 札幌徳洲会病院小児科

ショートオーラル５　CCS・水電解質・その他２

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

座長　中村　明枝（北海道大学医学部小児科）
　　長井　静世（滋賀医科大学小児科学講座）

SO1-5-1 全染色体 pUPD モザイクによる Beckwith-Wiedemann 症候群に合併した高インスリン性低血糖症の１例

澤野　堅太郎[1]、廣嶋　省太[1]、小貫　孝則[1]、柴田　奈央[1]、入月　浩美[1]、小川　洋平[1]、
浦川　立貴[2]、鏡　雅代[2]、長崎　啓祐[1]
[1]新潟大学医歯学総合病院、[2]国立成育医療研究センター研究所　分子内分泌研究部

SO1-5-2 小児急性白血病患者のサルコペニアの増悪は発症時の IGF-1 値と逆相関する

糸永　知代[1]、小宅　桃子[1]、平野　直樹[1]、前田　美和子[1]、末延　聡一[1,2]、井原　健二[1]
[1]大分大学医学部小児科、[2]大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業

SO1-5-3 早産児卵巣過剰刺激症候群の症例報告と文献的レビュー

越智　彩子[1]、石田　竜之[1]、茂木　桜[1]、豊田　純也[1]、大塚　康平[2]、寺田　知正[1]、
永原　敬子[1]、安達　昌功[1]、水野　克己[1]
[1]昭和大学病院　小児科学講座、[2]東海大学医学部総合診療学系 小児科

SO1-5-4 成長障害および発達遅滞を伴う 16p13.11 微小重複の女児例

渡邊　大輔、矢ヶ崎　英晃、成澤　宏宗、犬飼　岳史
山梨大学医学部小児科

SO1-5-5 間葉性異形成胎盤に肝芽腫を合併した Beckwith-Wiedemann 症候群女児例の遺伝学的解析

小川　朋恵[1,2]、小杉　洋平[3]、松井　俊大[4]、鈴木　靖人[5]、小林　良二[6]、深見　真紀[1]、
立野　正敏[7]、小崎　里華[8]、鏡　雅代[1]
[1]国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[2]東北大学大学院医学系研究科次世代小児医療講座、[3]倉敷中央病院小児科、
[4]国立成育医療研究センター小児がんセンター、[5]釧路赤十字病院小児科、
[6]札幌北楡病院小児思春期科、[7]釧路赤十字病院病理診断科、
[8]国立成育医療研究センター遺伝診療科

SO1-5-6 内分泌学的管理を行った胎児脳腫瘍の２例

杉浦　愛子[1]、松村　知美[1]、福田　明子[1]、牧　美穂[1]、大沼　真輔[1]、福岡　智哉[1]、
橘　真紀子[1]、木村　武司[1]、大幡　泰久[1]、山本　哲史[1]、北畠　康司[1]、香川　尚己[2]、
窪田　拓生[1]、三善　陽子[1,3]、大薗　恵一[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科小児科、[2]大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科、
[3]大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科

SO1-5-7 Turner 症候群の心合併症―トランジション時と成人期に精査や加療が必要であった２例

森口　駿[1]、向山　祐理[1]、滝沢　文彦[1]、小川　敦[1]、小川　哲史[1]、柳川　幸重[2]、
小宮山　知夏[2]、新津　理英子[2]、伊藤　純子[2]、磯島　豪[1]
[1]国家公務員共済組合連合会虎の門病院小児科、
[2]国家公務員共済組合連合会虎の門病院循環器内科

SO1-5-8 渇中枢障害が治療中に改善したランゲルハンス組織球症による中枢性尿崩症の９歳女児例

中野　さつき[1,2]、太田　昌志[1,2]、山崎　文登[2]、佐藤　武志[2]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]
[1]さいたま市立病院、[2]慶應義塾大学医学部小児科

SO1-5-9 中枢性尿崩症を合併した鞍上部胚細胞腫瘍の化学療法施行時の合成バソプレシン持続静注による水・電解質管理

髙尾　洋輝、田中　真己人、工藤　寿子、吉川　哲史、水野　晴夫
藤田医科大学医学部小児科学

SO1-5-10 ラトケ嚢胞破裂に合併した髄膜炎と続発した成長障害と中枢性尿崩症

守分　正[1]、河村　麻衣[1,2]
[1]国立病院機構岩国医療センター小児科、[2]山口大学小児科

ショートオーラル6　糖代謝・糖尿病・低血糖5

10月20日（金）17：20 ～ 18：20　第1会場（ソニックシティホール 1F 大ホール）

座長　神野　和彦（県立広島病院小児科）
　　鈴木　滋（旭川医科大学小児科）

SO2-6-1 糖尿病性ケトアシドーシス発症の有無による小児急性発症1型糖尿病のインスリン量に関する検討
寺田　啓輝、田邉　聡美、峯　佑介、青木　政子、鈴木　潤一、浦上　達彦、森岡　一朗
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

SO2-6-2 ジアゾキシドによる肺高血圧症を呈した心房中隔欠損症合併の先天性高インスリン血症に対する治療戦略
川名　宏[1]、武者　育麻[1,2]、戸田　紘一[3]、小泉　紗友里[1]、水本　崚允[1,3]、沼倉　周彦[1,2]、鍋嶋　泰典[3]、小島　拓朗[3]、葭葉　茂樹[3]、小林　俊樹[3]、永瀬　晴啓[4]、帆足　孝也[4]、菊池　透[1]
[1]埼玉医科大学病院小児科、[2]埼玉医科大学病院ゲノム医療科、
[3]埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科、[4]埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科

SO2-6-3 家系内で異なる膵形態を認めた日本人 PDX1-MODY 家系例
廣嶋　省太、小貫　孝則、澤野　堅太郎、柴田　奈央、入月　浩美、小川　洋平、長崎　啓祐
新潟大学医歯学総合病院

SO2-6-4 インスリン療法中に皮下腫瘤を認めた小児1型糖尿病13症例の検討
沼沢　慶太、北尾　牧子、志賀　健太郎
横浜市立大学附属市民総合医療センター

SO2-6-5 新型コロナウイルス感染症パンデミックが山梨県小児1型糖尿病の発症率へ与えた影響
齋藤　朋洋[1,2]、望月　美恵[2]、成澤　宏宗[2]、渡邊　大輔[2]、牧野　耕一[2]、矢ヶ崎　英晃[2]、佐藤　和正[2]、佐野　友昭[2]、太田　正法[2]、小林　浩司[2]
[1]山梨県立中央病院小児科、[2]山梨大学医学部小児科

SO2-6-6 MODY1 の家系例における新規 HNF4A 遺伝子バリアントの機能解析
森川　俊太郎[1]、原　和也[2]、金子　直哉[1]、中山　加奈子[1]、菱村　希[1]、中本　哲[2]、中村　明枝[1]、真部　淳[1]
[1]北海道大学病院　小児科、[2]市立千歳市民病院　小児科

SO2-6-7 SHORT 症候群におけるインスリン抵抗性糖尿病：症例報告と文献のレビュー
増永　陽平[1,2]、井上　毅信[3]、村松　真由美[1]、小野　裕之[1]、藤澤　泰子[1]、鏡　雅代[3]、深見　真紀[3]、才津　浩智[4]、緒方　勤[1,4,5]
[1]浜松医科大学小児科、[2]浜松医科大学地域医療支援学講座、
[3]国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、[4]浜松医科大学医化学、
[5]浜松医療センター小児科

SO2-6-8 グリコアルブミン /HbA1c 比への内因 Hb グリケーション因子としての Fructosamine-3-Kinase 遺伝子多型の影響
武者　育麻[1,2]、川名　宏[1]、沼倉　周彦[1,2]、大竹　明[1,2]、菊池　透[1]、雨宮　伸[1]
[1]埼玉医科大学病院小児科、[2]埼玉医科大学病院ゲノム医療科

SO2-6-9 兵庫県における新型コロナウイルス流行前後での小児糖尿病性ケトアシドーシスの発症年齢の比較
柏坂　舞[1]、西藤　知城[1]、池谷　きいこ[1]、松本　真明[1]、洪　聖媛[2]、坊　亮輔[2]、山本　茜[3]、奥谷　貴弘[4]、奥野　美佐子[5]、西山　敦史[6]、金谷　真吾[7]、山本　寛子[8]、井上　真太郎[9]、山田　博之[10]、福原　信一[11]、尾﨑　佳代[1]
[1]兵庫県立こども病院代謝内分泌科、[2]神戸大学医学部附属病院小児科、
[3]神戸市立医療センター中央市民病院小児科、[4]済生会兵庫県病院小児科、
[5]兵庫医科大学病院小児科、[6]加古川中央市民病院小児科、[7]姫路赤十字病院小児科、
[8]北播磨総合医療センター小児科、[9]兵庫県立丹波医療センター小児科、
[10]公立豊岡病院組合立豊岡病院小児科、[11]兵庫県立淡路医療センター小児科

SO2-6-10 SAP 療法を行った低出生体重の新生児糖尿病の２例

神野　和彦[1]、古森　遼太[1]、壷井　史奈[1]、佐伯　久子[2]、前野　誓子[2]、古川　亮[2]、藤原　信[2]、福原　里恵[2]

[1]県立広島病院小児科、[2]県立広島病院新生児科

ショートオーラル７　肥満・やせ・栄養・脂質代謝３

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　第 2 会場（ソニックシティホール 2F 小ホール）

座長　市川　剛（那須赤十字病院小児科）

竹本　幸司（愛媛県立新居浜病院小児科）

SO2-7-1 小児肥満有病率のトレンド：Jointpoint 法を用いた検討

藤原　進太郎[1,2]、原田　洸[3]、萩谷　英大[2]、小山　敏広[4]、長谷川　高誠[5]、塚原　宏一[6]、大塚　文男[2]

[1]岡山医療センター小児科、[2]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科総合内科学、
[3]マウントサイナイ ベスイスラエル病院 内科、
[4]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医療教育センター、[5]岡山大学病院小児科、
[6]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学

SO2-7-2 長期間の免疫グロブリン療法（IVIg）は ROHHAD 症候群の症状を改善する

島　彦仁[1]、田山　耕太朗[1]、中川　智博[1]、三浦　啓暢[1]、川嶋　明香[1]、曽木　千純[1,2]、梅木　郁美[1,3]、鈴木　大[1]、上村　美季[1,4]、髙山　順[5]、宇都宮　朱里[6,7]、菅野　潤子[1]、菊池　敦生[1]

[1]東北大学病院小児科、[2]地域医療推進機構仙台病院小児科、[3]岩手県立中央病院小児科、
[4]国立病院機構仙台医療センター小児科、
[5]東北メディカル・メガバンク AI フロンティア新医療創生分野、
[6]広島大学大学院医系科学研究科、[7]広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科

SO2-7-3 同居者による喫煙の成長への影響 ～北九州乳幼児健診データベースに基づく傾向スコアマッチング～

赤星　祥伍[1,2]、齋藤　玲子[3]、島田　綾[1]、池側　研人[1,2]、金子　徹治[2]、森川　和彦[2]、長谷川　行洋[1,4]

[1]東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
[2]東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター、[3]産業医科大学小児科学教室、
[4]多摩北部医療センター小児科

SO2-7-4 出生コホートにおける adiposity rebound の検討

土井　響、五十嵐　瑞穂、石丸　雅矩、宇治田　凪紗、鹿島　健幹、谷本　英里、中村　千鶴子、福井　貞弘、宮城　元、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子

国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

SO2-7-5 当科肥満外来受診児の検討－早期 Adiposity rebound の有無に着目して－

大髙　智博、長沼　純子、中山　幸量、小山　さとみ、吉原　重美

獨協医科大学　小児科学

SO2-7-6 摂食障害症例における入院時の内分泌および腎障害の程度と体重減少速度の関連

菅野　奈緒、和田　泰格、石川　健、塩畑　健、菅原　啓司、千田　悠太郎、赤坂　真奈美

岩手医科大学医学部小児科学講座

SO2-7-7 成長曲線・肥満度判定曲線健診におけるカテゴリー９の特徴

地行　健二[1,2]、中矢　隆大[2]、濱田　淳平[3]、竹本　幸司[2]

[1]四国中央病院小児科、[2]愛媛県立新居浜病院小児科、[3]愛媛大学医学部小児科

SO2-7-8 ２型糖尿病性ケトアシドーシスに非閉塞性腸間膜虚血を合併し大量腸切除を要した１例

木下　香[1]、藤里　秀史[1]、平田　優[1]、諏訪部　信一[1]、山根　綾夏[2]、加古　訓之[2]、北村　伸哉[2]、鈴木　謙介[3]、小林　壮一[3]、片岡　雅章[3]

[1]国保直営総合病院君津中央病院 小児科、[2]国保直営総合病院君津中央病院 救急･集中治療科、
[3]国保直営総合病院君津中央病院 外科

SO2-7-9 脳炎脳症と副腎腫瘍を認めた ROHHAD 症候群の女児

トカン　ヴラッド[1]、中島　佑[1]、島本　太郎[1]、安部　希[1]、虫本　雄一[1]、上田　圭希[1]、
松岡　若利[1,2]、園田　有里[1]、水口　壮一[1,2]、チョン　ピンフィー[1]、川久保　尚徳[3]、
賀来　典之[1,2]、古賀　友紀[1]、酒井　康成[1]、宇都宮　朱里[4,5]、田尻　達郎[3]、大賀　正一[1]
[1]九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野、[2]九州大学病院 救命救急センター、
[3]九州大学大学院医学研究院小児外科学分野、
[4]広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科、[5]広島大学大学院医系科学研究科

SO2-7-10偶発的に随時高 TG 血症を認め ApoA5 遺伝子両アレル性バリアントを同定した 1 歳児

蜂屋　瑠見[1]、手塚　舞花[1]、木村　尚喜[1]、福島　裕之[1]、長谷川　奉延[2]
[1]東京歯科大学市川総合病院小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科

ショートオーラル８　甲状腺３

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　第 3 会場（ソニックシティホール 4F 国際会議室）

座長　伊藤　順庸（金沢医科大学小児科学）
　　宮田　市郎（東京慈恵会医科大学小児科学講座）

SO2-8-1 NKX2-1 と DUOX2 にバリアントをもつ先天性甲状腺機能低下症の 1 例

上原　絵理香[1]、堀　尚明[2]、中尾　佳奈子[1]、秋葉　和壽[1,3]、末岡　秀文[4]、松原　圭子[1,5]、
鳴海　覚志[6]
[1]国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[2]SUBARU 健康保険組合　太田記念病院、[3]東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
[4]札幌医科大学医学部小児科学講座、
[5]国立成育医療研究センター研究所　ダイバーシティ研究室、[6]慶應義塾大学医学部小児科

SO2-8-2 Graves 病母体から出生した児は新生児期以降に原発性甲状腺機能低下症を来すことがある

麻生　敬子[1]、植田　有紀子[1]、桑原　友紀[1]、増本　健一[2]、弘世　貴久[3]、中田　雅彦[4]、
佐藤　真理[1]
[1]東邦大学医療センター大森病院小児科、[2]東邦大学医療センター大森病院新生児科、
[3]東邦大学医療センター大森病院糖尿病・代謝・内分泌センター、
[4]東邦大学医療センター大森病院産婦人科

SO2-8-3 胎児甲状腺腫性甲状腺機能低下症を呈した DUOXA2 異常症（p.Y138*/p.Y246* バリアント）の臨床経過と予後

渡辺　健太[1]、沼田　遥[1]、木村　妙[1]、齋藤　真希[1]、鳴海　覚志[2]、宮田　市郎[1]
[1]東京慈恵会医科大学小児科学講座、[2]慶應義塾大学小児科学教室

SO2-8-4 母体のバセドウ病治療により胎児甲状腺腫をきたした２例の検討

明利　聡瑠[1]、松山　美静代[1]、松澤　聡史[2]、児玉　由紀[2]、楯　真由美[3]、中村　賢二[3]、
小畑　静[4]、山内　綾[4]、盛武　浩[1]
[1]宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野、[2]宮崎大学医学部附属病院 産婦人科、
[3]宮崎県立延岡病院 小児科、[4]宮崎県立延岡病院 産婦人科

SO2-8-5 当院におけるバセドウ病合併母体から出生した児の検討

長谷川　真理、秋定　博子、野上　恵嗣
奈良県立医科大学

SO2-8-6 新生児マススクリーニング陰性であった DUOX2 異常症の先天性甲状腺機能低下症の一例

馬場　義郎[1,2,3]、上原　絵理香[4]、長谷川　行洋[1,5]、鳴海　覚志[3,4]、石井　智弘[3]、長谷川　奉延[3]
[1]東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、[2]新百合ヶ丘総合病院小児科、
[3]慶應義塾大学小児科、[4]成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
[5]多摩北部医療センター小児科

SO2-8-7 新型コロナワクチン初回接種後にバセドウ病を発症した 13 歳女児例

古池　雄治[1,2]、廣瀬　益子[2]、虎谷　正三[2]
[1]茨城大学教育学部、[2]ひろせクリニック

SO2-8-8 運動発達障害と不随意運動を主訴に受診し Brain-Lung-Thyroid Syndrome と診断した 1 例

深江　俊愛[1,2]、池川　環[3]、上原　健史[1]、滝崎　奈穂[1]、簇生　なおみ[1]、井澤　雅子[1]、
花川　純子[1]、後藤　知英[3]、室谷　浩二[1]
[1]神奈川県立こども医療センター 内分泌代謝科、[2]順天堂大学小児科、
[3]神奈川県立こども医療センター　神経内科

SO2-8-9 チアマゾールによる無顆粒球症に顆粒球コロニー刺激因子を使用したが好中球数回復期間が短縮しなかった女児

中村　早希、金城　由佳里、井垣　純子
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児内分泌・代謝内科

SO2-8-10イオン交換膜ユニットを用いた甲状腺機能検査 転換率 Conversion Rate について

栗原　英夫[1]、菅原　正博[2]、土井　秀之[1]、高屋　潔[1]、佐瀬　里香[1]
[1]栗原クリニック、
[2]Greater Veterans Los Angeles Veterans and Affair and David Geffen School of Medicine at UCLA, Depart of Diabetes and Endocrinology

ショートオーラル９　性腺・性分化疾患・思春期３

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　第 4 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 401+402）

座長　濱島　崇（あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科）
藤澤　泰子（浜松医科大学小児科）

SO2-9-1 当科で経験した 46, XY DSD を呈する 17 α水酸化酵素欠損症 3 例の臨床的・遺伝学的検討

多村　公晃[1]、木村　妙[1]、齋藤　真希[1]、本田　美紗[2]、天野　直子[2]、長谷川　奉延[2]、
宮田　市郎[1]
[1]東京慈恵会医科大学小児科学講座、[2]慶応義塾大学小児科学教室

SO2-9-2 中枢性思春期早発症女児における子宮の発育と Tanner 分類および骨年齢との関係

植田　有紀子、麻生　敬子、佐藤　真理
東邦大学医療センター大森病院小児科

SO2-9-3 特発性ゴナドトロピン依存性思春期早発症女児の GnRHa 治療および投与量における身長予後についての検討

齋藤　玲子[1]、馬場　義郎[2,3]、尾﨑　佳代[4]、池側　研人[2]、長崎　啓祐[5]、中村　明枝[6]、
濱島　崇[7]、樋口　真司[8]、長谷川　行洋[2,9]
[1]産業医科大学医学部小児科、[2]東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
[3]新百合ヶ丘総合病院 小児科　、[4]兵庫県立こども病院 代謝内分泌科、
[5]新潟大学医歯学総合病院小児科、[6]北海道大学小児科、
[7]あいち小児保健医療総合センター内分泌・代謝科、
[8]大阪市立総合医療センター 小児代謝・内分泌内科、[9]多摩北部医療センター小児科

SO2-9-4 思春期早発症を伴った MORC2 遺伝子異常症の 2 例

高橋　郁子[1]、大高　新[1]、野口　篤子[1]、山田　茉未子[2]、鈴木　寿人[2]、小崎　健次郎[2]、
高橋　勉[1]
[1]秋田大学大学院医学研究科小児科学講座、[2]慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

SO2-9-5 福岡市における思春期早発症患者数の経年的変化　2018-2022

牧村　美佳[1,5]、八ツ賀　秀一[2]、虫本　雄一[3]、江島　伸興[4]、古園　美和[1]、古賀　信彦[2]、
安部　希[3]、トカン　ヴラッド[3]、石井　加奈子[1,3]、都　研一[1]
[1]福岡市立こども病院内分泌・代謝科、[2]福岡大学病院小児科、[3]九州大学病院小児科、
[4]久留米大学病院小児科、[5]小倉医療センター小児科

SO2-9-6 思春期早発に関連する相談で来院した児の保護者に対する意識調査

箱田　明子、西井　亜紀
JR 仙台病院小児科

SO2-9-7 Testicular Seminoma を呈した 45,X/46,XY モザイクの 1 男性例

佐野　伸一朗[1]、濱野　淳[2]、藤澤　泰子[3]、緒方　勤[3,4]
[1]静岡県立こども病院　糖尿病・代謝内科、[2]静岡県立こども病院　泌尿器科、
[3]浜松医科大学小児科 、[4]浜松医療センター小児科

SO2-9-8 中枢性思春期早発症治療例における治療前後の身長および BMI の変化

秋定　博子、長谷川　真理、野上　恵嗣
奈良県立医科大学小児科

SO2-9-9 乳児期にゴナドトロピン補充療法を施行した Kallmann 症候群の男児例

神川　愛純、松永　実香、岡島　道子、和田　泰三
金沢大学医薬保健研究域医学系小児科

SO2-9-10LHRH アナログ製剤 leuprolide 投与でアナフィラキシー症状を呈した思春期早発症の 1 例

藤原　幾磨
仙台市立病院小児科

ショートオーラル 10　糖代謝・甲状腺

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　第 5 会場（ソニックシティビル 4F 市民ホール 403+404）

座長　母坪　智行（さっぽろ小児内分泌クリニック）
松井　克之（滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科）

SO2-10-1 日本人小児 1 型糖尿病におけるインスリン頻回注射法による夜間低血糖の検討

阿部　裕樹[1,2]、浦上　達彦[1,3]、鈴木　潤一[1,3]、森田　智[1,4]、荒木　まり子[1,5]、溝田　美智代[1,6]、
佐々木　悟郎[1,7]、森　潤[1,8]、立松　寿[1,9]、峯　佑介[1,3]、吉田　圭[1,3]、菊池　透[1,10]
[1]小児インスリン治療研究会、[2]新潟市民病院小児科、[3]日本大学病院小児科、
[4]鹿児島生協病院小児科、[5]高知大学医学部附属病院小児科、[6]今村総合病院小児科、
[7]東京歯科大学市川総合病院小児科、[8]京都府立医科大学病院小児科、
[9]中部ろうさい病院小児科、[10]埼玉医科大学病院小児科

SO2-10-2 日本人小児糖尿病患者に対するグルカゴン点鼻粉末の安全性及び有効性（特定使用成績調査の中間解析結果）

陳　里菜[1]、長岡　創志[2]、水野　聖子[1]、居森　真[2]
[1]日本イーライリリー株式会社信頼性保証本部、
[2]日本イーライリリー株式会社研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

SO2-10-3 先天性高インスリン血症に対する徐放性ソマトスタチン製剤の有効性に関する検討

川村　遥、本川　未都里、森内　浩幸、伊達木　澄人
長崎大学病院小児科

SO2-10-4 GLUD1 遺伝子変異による高インスリン高アンモニア血症症候群の 18 年間の治療経過

服部　真也[1]、中谷　恵理[1]、吉崎　加奈子[1]、川北　理恵[1]、細川　悠紀[1]、松田　純子[2]
[1]倉敷中央病院、[2]川崎医科大学病態代謝学

SO2-10-5 持続グルコースモニタリングで内服調整した高アンモニア性高インスリン血性低血糖症の 1 例

阿部　茉衣子、數川　逸郎、鮎田　香子、山本　紘子、木原　牧子、柴　康弘、皆川　真規
千葉県こども病院内分泌科

SO2-10-6 高浸透圧性高血糖症候群と非典型的糖尿病ケトアシドーシス 3 例の臨床像の検討

中村　千鶴子、石丸　雅矩、谷本　英里、福井　貞弘、宇治田　凪紗、宮城　元、五十嵐　瑞穂、
鹿島　健幹、土井　響、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子
国立成育医療研究センター

SO2-10-7 画像検査により膵体尾部欠損が判明し，MODY5 の診断に至った 1 例

折本　竜太[1]、田中　大祐[2,4]、稲垣　暢也[2,3,4]、宮井　健太郎[1]
[1]東京北医療センター、[2]京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学、
[3]公益財団法人田附興風会　医学研究所北野病院、
[4]日本糖尿病学会　単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究委員会

SO2-10-8小児劇症 1 型糖尿病の診断時における甲状腺機能

南谷　幹史[1,2]、志賀　健太郎[1]、田嶼　朝子[1]、鹿島田　健一[1]、河田　泰定[1]、福田　謙[1]、小谷　裕美子[1]、喜多村　美幸[1]、三浦　順之助[1]、高橋　郁子[1]、田嶋　華子[1]、横田　一郎[1]、杉原　茂孝[1]、菊池　透[1]

[1]小児インスリン治療研究会、[2]帝京大学ちば総合医療センター小児科

SO2-10-9萎縮性甲状腺炎の小児 38 例の文献レビュー

茂木　桜、安達　昌功、越智　彩子、永原　敬子、豊田　純也、石田　竜之

昭和大学病院

SO2-10-10 プロプラノロール併用下で少量のレボチロキシン投与で管理しえた消耗性甲状腺機能低下症の乳児肝血管腫例

池谷　紀衣子、西藤　知城、柏坂　舞、洪　聖媛、樋口　アカリ、松本　真明、尾﨑　佳代

兵庫県立こども病院

ポスター発表１　下垂体・成長４

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　有安　大典（川崎市立川崎病院小児科）

河野　智敬（埼玉県立小児医療センター代謝・内分泌科）

P1-1-1　出生時院外心停止による蘇生後脳症 2 症例の下垂体機能

水野　裕介[1]、友岡　俊[2]、木島　俊英[2]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]

[1]済生会宇都宮病院小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科

P1-1-2　Schaaf-Yang 症候群：成長ホルモン、LH-RH アナログ併用療法

髙橋　侑利、飯田　厚子、鈴木　恵子、松岡　尚史

東京女子医科大学附属足立医療センター小児科

P1-1-3　NSD1 遺伝子に新規バリアントを認めた Sotos 症候群の 3 歳男児例

橋本　大[1,2]、田村　奈津子[2]、木村　妙[2]、川目　裕[3]、宮田　市郎[2]

[1]町田市民病院小児科、[2]東京慈恵会医科大学小児科学講座、[3]東京慈恵会医科大学遺伝診療部

P1-1-4　小児成長ホルモン分泌不全性低身長治療から、早期に成人成長ホルモン分泌不全症治療へ移行した 1 例

酒井　祐貴、萩原　秀俊、鈴木　秀一、今井　耕輔

防衛医科大学校小児科学講座

P1-1-5　低身長を契機に発見された Stickler 症候群の 1 例

田所　宏啓[1]、桑原　健輔[2]、柴田　奈央[1]、廣嶋　省太[1]、澤野　堅太郎[1]入月　浩美[1]、小川　洋平[1]、渡辺　健一[2]、長崎　啓祐[1,2]

[1]新潟大学医歯学総合病院小児科、[2]長岡赤十字病院

P1-1-6　尿路結石を合併した小児 Cushing 病

神村　未来[1]、関　祐子[1]、柿本　令奈[1,2]、堀口　達史[1]、三浦　希和子[1]、徳永　美菜子[1]、森田　智[1]、岡本　康裕[1]

[1]鹿児島大学病院小児科、[2]いまきいれ総合病院小児科

P1-1-7　虚弱体質の SGA 性低身長症に対し小建中湯で低身長が改善した 1 例

和田　啓介、小林　弘典、鬼形　和道、鞍嶋　有紀、竹谷　健

島根大学医学部小児科

P1-1-8　GHD の診断に至るまでに高度肥満に伴う睡眠時無呼吸傾向を示した男児例

金城　さおり、又吉　慶

沖縄県立中部病院小児科

ポスター発表2　性腺・性分化疾患・思春期4

10月19日（木）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第2～第5展示場）

座長　棚橋　祐典（市立稚内病院小児科）
　　溝田　美智代（今村総合病院小児科）

P1-2-1　非症候群性尿道下裂患者において DHX37 病原性バリアントは稀である

齋藤　大輔[1]、福井　由宇子[1]、村西　雄貴[1]、今　雅史[2]、三井　貴彦[3]、室谷　浩二[4]、
深見　真紀[1]

[1]国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、[2]北海道大学腎泌尿器外科、
[3]山梨大学泌尿器科、[4]神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科

P1-2-2　非典型的外性器を契機に診断された Smith-Lemli-Opitz 症候群の1例

坂田　園子[1]、山岡　尚平[2]、早川　誠一[1]、武内　香菜子[1]、熊田　寛子[1]、内海　孝法[1]、
香川　礼子[1]、岡田　賢[1]

[1]広島大学病院小児科、[2]JA 尾道総合病院　小児科

P1-2-3　低身長フォロー中に発症した思春期早発症の女児3例

上田　晃三

松山赤十字病院小児科

P1-2-4　新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行前後における中枢性思春期早発症の検討

松田　希[1]、滝島　茂[1]、佐藤　薫[1]、鹿島田　健一[2]、長谷川　毅[1]

[1]草加市立病院 小児科、[2]東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科　発生発達病態学分野

P1-2-5　特発性 GnRH 依存性思春期早発症女児に対する LHRH アナログ治療が体重増加に及ぼす影響

尾﨑　佳代[1]、馬場　義郎[2,9]、齋藤　玲子[3]、池側　研人[2]、長崎　啓祐[4]、中村　明枝[5]、
濱島　崇[6]、樋口　真司[7]、西藤　知城[1]、柏坂　舞[1]、池谷　紀衣子[1]、松本　真明[1]、
長谷川　行洋[2,8]

[1]兵庫県立こども病院 代謝内分泌科、[2]東京都立小児総合医療センター　内分泌・代謝科、
[3]産業医科大学　小児科、[4]新潟大学医歯学総合病院小児科、[5]北海道大学医学部小児科、
[6]あいち小児保健医療総合センター 内分泌・代謝科、
[7]大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科、[8]多摩北部医療センター　小児科、
[9]新百合ヶ丘総合病院 小児科

P1-2-6　小児期の訓練によるターナー症候群成人女性の視覚認知を含む脳・認知機能の 長期的な効果の検討

荒木　久美子[1]、稲田　勤[2]、西垣　五月[3]、望月　貴博[3]、荒木　まり子[4]、間部　裕代[5]

[1]秋山成長クリニック、[2]高知リハビリテーション専門職大学言語聴覚学専攻、
[3]希望の森成長発達クリニック、[4]高知大学医学部小児思春期医学、[5]間部病院小児科

P1-2-7　小児期の訓練の有無によるターナー症候群成人女性の視機能と視覚認知を含む脳・認知機能の比較

荒木　久美子[1]、稲田　勤[2]、西垣　五月[3]、望月　貴博[3]、荒木　まり子[4]、間部　裕代[5]

[1]秋山成長クリニック、[2]高知リハビリテーション専門職大学言語聴覚学専攻、
[3]希望の森成長発達クリニック、[4]高知大学医学部小児思春期医学、[5]間部病院小児科

P1-2-8　超低用量ピルにて月経のコントロールを行った基礎疾患を持つ女児例

八田　容理子[1,2]、上條　隆司[3]

[1]岩山小児科、[2]公立陶生病院、[3]なごやかこども成長クリニック

ポスター発表３　糖代謝・糖尿病・低血糖６

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　濱田　淳平（愛媛大学大学院医学系研究科小児科学）
　　細川　悠紀（倉敷中央病院小児科）

P1-3-1　PAX4 遺伝子バリアント R129W は２型糖尿病の疾患感受性バリアントである
金城　由佳里[1]、喜納　陽子[1]、志村　和浩[2]、本田　美紗[2]、鳴海　覚志[2]、長谷川　奉延[2]、井垣　純子[1]
[1] 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児内分泌・代謝内科、
[2] 慶應義塾大学医学部小児科学教室

P1-3-2　偏った食習慣を背景に上気道炎を契機としてケトーシスを伴う一過性高血糖をきたした幼児例
森　真以、堀　友博、尾崎　眞人、松本　英樹、大塚　博樹、遠渡　沙緒理、伊藤　裕子、川本　典生、大西　秀典
岐阜大学大学院医学系研究科小児科学

P1-3-3　糖尿病性ケトアシドーシスにおける高浸透圧血症の影響
中村　有梨沙、宮井　健太郎
東京北医療センター小児科

P1-3-4　血糖コントロール不良により肝機能障害が遷延した、1 型糖尿病の 15 歳女児例
大山　和紗[1,5]、末岡　秀文[2]、本庄　紗帆[3,5]、岩佐　真実[4]、中村　慧[4]、佐藤　俊哉[5]、石井　玲[2,5]、津川　毅[2]
[1] 苫小牧市立病院小児科、[2] 札幌医科大学附属病院小児科、
[3] 北海道立子ども総合医療・療育センター新生児内科、[4] 浦河赤十字病院小児科、
[5] 岩見沢市立総合病院

P1-3-5　高インスリン血症、ダンピング症候群により症候性低血糖を認めたと考えられた歌舞伎症候群の２歳男児
藤原　進太郎[1]、江渕　有紀[1]、樋口　洋介[1]、古城　真秀子[1]、久保　俊英[1]、影山　操[2]
[1] 岡山医療センター小児科、[2] 岡山医療センター新生児科

P1-3-6　同時期・同世代発症の 1 型糖尿病女児２例が社会人になるまでの成長過程の比較：「生きづらさ」の質的研究
高口　僚太朗[1]、八ツ賀　秀一[2]
[1] 長岡技術科学大学、[2] 福岡大学小児科

P1-3-7　オクトレオチドでコントロールを得ている ABCC8 遺伝子ヘテロ接合性変異を同定した先天性高インスリン血症
小松　洋介、菊池　信行
横浜労災病院小児科

P1-3-8　L- アスパラギナーゼによる急性膵炎後に発症した抗 GAD 抗体陽性の糖尿病の 1 例
大澤　好充[1,2]、須田　峻平[1]、鏑木　多映子[3]、大和　玄季[1,3]、大津　義晃[1,2]、滝沢　琢己[1]
[1] 群馬大学大学院医学系研究科小児科学、[2] 群馬県立小児医療センター　内分泌代謝科、
[3] 群馬県立小児医療センター　血液腫瘍科

ポスター発表４　糖代謝・糖尿病・低血糖７

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　小林　浩司（山梨厚生病院小児科）
　　高谷　具純（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

P1-4-1　学校検尿を契機に発見された緩徐進行 1 型糖尿病の２例
鈴木　大[1]、島　彦仁[1]、川嶋　明香[1]、梅木　郁美[1,2]、上村　美季[1,3]、菅野　潤子[1]
[1] 東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野、[2] 岩手県立中央病院小児科、
[3] 仙台医療センター小児科

P1-4-2　石川県での小児 1 型糖尿病発症数における SARS-CoV-2 パンデミックの影響
井上　巳香[1]、小幡　美智[1]、中農　万里[1]、伊藤　順庸[2]、岡島　道子[3]、神川　愛純[3]、
木場　由希子[4]、土市　信之[5]、谷口　千尋[5]、城戸内　健介[5]
[1]国立病院機構金沢医療センター、[2]金沢医科大学病院小児科、[3]金沢大学附属病院小児科、
[4]小松市民病院小児科、[5]石川県立中央病院小児科

P1-4-3　学校検尿を契機に発見された KCNJ11-MODY の 1 例
服部　晶人[1]、奥原　宏治[1]、清水　康弘[1]、鈴木　滋[2]
[1]社会医療法人母恋天使病院こどもメディカルセンター小児科、
[2]旭川医科大学医学部医学科臨床医学講座小児科学講座

P1-4-4　小児のステロイド糖尿病に対し持効型溶解インスリンアナログ製剤とリキシセナチドの合剤が有効であった 2 例
鹿島　健幹、石丸　雅矩、谷本　英里、中村　千鶴子、福井　貞弘、宇治田　凪紗、宮城　元、
五十嵐　瑞穂、土井　響、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子
国立成育医療研究センター

P1-4-5　急性血液浄化療法を必要とした糖尿病性ケトアシドーシスの 1 例
馬場　皆人[1]、藤原　香緒里[1]、山村　なつみ[1]、森田　可奈子[2]、稲田　雄[2]、清水　義之[2]、
道上　敏美[1]、山本　勝輔[1]
[1]大阪母子医療センター腎・代謝科、[2]大阪母子医療センター集中治療科

P1-4-6　過度な炭水化物摂取により糖尿病を発症した非肥満の思春期女子の 1 例
北尾　牧子、沼沢　慶太、志賀　健太郎
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

P1-4-7　HbA1c とグリコアルブミンの乖離を契機に血糖マネジメントが改善した思春期 2 型糖尿病
江田　陽一[1,2]、大津　義晃[1,2]、島田　正晴[1,2]、西村　秀子[1]、滝沢　琢己[2]
[1]利根中央病院小児科、[2]群馬大学大学院医学系研究科小児科学

ポスター発表 5　肥満・やせ・栄養・脂質代謝 4

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）
座長　井垣　純子（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）
庄司　保子（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

P1-5-1　体重増加不良を契機に診断に至った ACAD9 異常症の乳児例
小針　靖子[1]、髙野　洋子[1]、山口　将邦[2]、大澤　好充[3]、大津　義晃[3]
[1]伊勢崎市民病院小児科、[2]桐生厚生総合病院小児科、[3]群馬大学医学部附属病院小児科

P1-5-2　PCSK9 遺伝子バリアントを有する重症家族性高コレステロール症の幼児例
須田　峻平、島田　正晴、和田　綾、濱嶋　恵美、大澤　好充、大津　義晃、滝沢　琢己
群馬大学小児科

P1-5-3　小児の肥満の持続期間と肥満合併症との関係
山田　克彦、犬塚　幹
佐世保中央病院小児科

P1-5-4　家族性高コレステロール血症を偶然診断された一家系
門脇　弘子[1]、井田　孔明[2]、原　真純[3]
[1]山王病院小児科、[2]帝京大学溝口病院小児科、[3]帝京大学溝口病院糖尿病代謝内科

P1-5-5　長期間の神経性食思不振症 1 例における難治性無月経と分子遺伝学解析による除外診断
佐藤　直子[1]、曽根田　瞬[2]、野田　雅裕[2]、岸　健太郎[2]、小笠原　敦子[3]、田中　裕之[1]、
門脇　弘子[4]、田中　敏章[2]
[1]東京大学医学部附属病院 小児科、[2]たなか成長クリニック、[3]茨城県立こども病院 小児科、
[4]国際医療福祉大学臨床医学研究センター

P1-5-6　急激な体重増加、発達遅延を呈した交通性水頭症の乳児

山本　晶子[1]、小松　なぎさ[1]、橘　秀和[2]、澤田　貴彰[2]、中村　公俊[2]
[1]熊本中央病院小児科、[2]熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座

P1-5-7　偏った食習慣にコロナ禍での外出自粛が加わったことで生じた、ビタミンＤ欠乏性くる病の思春期男児例

橋本　悟、瀧浦　俊彦、大久保　結子、吉野　浩、成田　雅美
杏林大学医学部付属病院小児科

ポスター発表６　甲状腺４

10 月 19 日（木）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　阿部　清美（東京都済生会中央病院小児科）
　　數川　逸郎（千葉県こども病院内分泌科）

P1-6-1　無治療で甲状腺機能が正常化したバセドウ病の 1 例

曽木　千純[1]、尾﨑　理史[1]、本間　貴士[1]、菅野　潤子[2]
[1]独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院小児科、[2]東北大学病院小児科

P1-6-2　子宮卵管造影検査を受けた母体から出生し，日齢 10 に TSH が正常化した先天性甲状腺機能低下症の 1 例

高橋　修平[1]、堀　尚明[1]、草野　知江子[1]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]
[1]太田記念病院小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科学教室

P1-6-3　無機ヨード薬を早期中止したところ甲状腺中毒症状が再燃した甲状腺クリーゼ合併バセドウ病の 1 例

大串　健一郎[1,2]、曽根田　瞬[1,2]、金　裕花[1]、住田　龍平[1]、山下　敦己[1,2]、吉村　博[1,2]、
清水　直樹[1]
[1]聖マリアンナ医科大学小児科、[2]聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

P1-6-4　バセドウ病に神経性やせ症を合併した 16 歳女性の 1 例

岩佐　真実[1]、中村　慧[1]、大山　和紗[2]、木原　美奈子[2]、小原　敏生[2]、東出　侑子[3]、
増山　裕太郎[4]、末岡　秀文[4]、石井　玲[4]、津川　毅[4]
[1]浦河赤十字病院小児科、[2]苫小牧市立病院小児科新生児科、[3]NTT 東日本札幌病院小児科、
[4]札幌医科大学小児科

P1-6-5　Down 症候群に合併した小児期発症の多腺性自己免疫症候群（APS）３型における臨床的検討

沼田　遥、木村　妙、宮田　市郎
東京慈恵会医科大学小児科学講座

P1-6-6　バセドウ病を発症した 46, XX, der(3)t(3:8)(p26;q24.23) の幼児例

矢ヶ崎　英晃、成澤　宏宗、渡邊　大輔、牧野　耕一、佐藤　和正、佐野　友昭、小林　浩司、
加賀　佳美、太田　正法、犬飼　岳史
山梨大学医学部小児科

P1-6-7　バセドウ病合併妊娠母体へのヨウ化カリウム内服により甲状腺腫大をきたした新生児バセドウ病の一例

柴　康弘、數川　逸郎、木原　牧子、山本　紘子、皆川　真規
千葉県こども病院

ポスター発表7　下垂体・成長5

10月20日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第2～第5展示場）

座長　堀　尚明（太田記念病院小児科）
　　和田　泰格（岩手医科大学医学部小児科学講座）

P2-7-1　A Case of Duplicated Pituitary Gland Plus Syndrome Complicated with Hypogonadotropic Hypogonadism

藤岡　晶子、宇治田　凪紗、宮城　元、五十嵐　瑞穂、鹿島　健幹、土井　響、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子

国立成育医療研究センター内分泌代謝科

P2-7-2　過成長から Sotos 症候群と疑われシークエンス解析により診断された一例

河原　幸平[1,2,3]、岩山　秀之[1]、佐田　惇[1]、沼本　真吾[1]、東　慶輝[1]、倉橋　宏和[1]、奥村　彰久[1]、北川　幸子[2]、中村　奈見[3]、森　麻里[3]、竹下　覚[3]、上田　博子[3]、垣田　博樹[3]、山田　恭聖[3]

[1]愛知医科大学病院小児科、[2]大雄会病院小児科、[3]愛知医科大学病院周産期母子医療センター

P2-7-3　診断時に高度やせを認めたトルコ鞍部黄色肉芽腫の 11 歳女児

佐竹　俊哉[1]、森口　駿[1]、向山　祐理[1]、滝沢　文彦[1]、小川　敦[1]、小川　哲史[1]、伊藤　純子[1]、伊藤　慎治[2]、福原　紀章[3]、岡田　満夫[3]、西岡　宏[3]、磯島　豪[1]

[1]国家公務員共済組合連合会 虎の門病院　小児科、
[2]国家公務員共済組合連合会 虎の門病院　病理診断科、
[3]国家公務員共済組合連合会 虎の門病院　間脳下垂体外科

P2-7-4　抗てんかん薬により成長障害を来した 1 例

勝島　由利子、勝島　矩子、勝島　史夫

医療法人　勝島小児科医院

P2-7-5　亜鉛欠乏症による成長障害として治療中に小児クローン病と診断した 1 例

山口　将邦[1]、小針　靖子[2]、髙野　洋子[2]、八木　龍介[3]、西澤　拓哉[3]、五十嵐　淑子[3]、石毛　崇[3]

[1]桐生厚生総合病院小児科、[2]伊勢崎市民病院小児科、[3]群馬大学医学部附属病院小児科

P2-7-6　低身長がみられた Andersen-Tawil 症候群の 2 成人例：遺伝的背景との比較

嶋　晃歩[1,2]、安藏　慎[1]、新井　美絵[1]、宗永　健志[3]、武内　俊樹[2]、石井　智弘[2]、長谷川　奉延[2]

[1]東京都立大塚病院、[2]慶應義塾大学医学部小児科学教室、[3]東京都立小児総合医療センター

P2-7-7　低身長児におけるコロナ禍の影響

北川　幸子[1,2]、岩山　秀之[2]、岩佐　圭美[2]、河原　幸平[2]、奥村　彰久[2]

[1]総合大雄会病院小児科、[2]愛知医科大学医学部小児科

ポスター発表8　副腎2

10月20日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第2～第5展示場）

座長　糸永　知代（大分大学医学部小児科）
　　尾﨑　佳代（兵庫県立こども病院 代謝内分泌科）

P2-8-1　無月経の精査から診断に至った非古典型 21- 水酸化酵素欠損症の 1 例

野村　直宏、田邉　裕子、見浪　実紀、田中　裕香、金子　一成

関西医科大学小児科学教室

P2-8-2　急性脳症を契機に診断した遅発性先天性リポイド過形成症例

宮城　元[1]、Nooridn Mazidah[1,2]、五十嵐　瑞穂[1]、石丸　雅矩[1]、谷本　英里[1]、中村　千鶴子[1]、福井　貞弘[1]、宇治田　凪紗[1]、鹿島　健幹[1]、土井　響[1]、吉井　啓介[1]、内木　康博[1]、堀川　玲子[1]

[1]国立成育医療研究センター 内分泌代謝科、
[2]Pediatri. Dept. Faculty of Medicine, Universiti Teknologi MARA(UiTM), Malaysia

P2-8-3　新生児期に診断しえた Xp21 欠失症候群の一例

家村　綾正[1]、山野　春樹[1]、岩田　はる香[2]、伊藤　一之[1]、杉江　学[1]、森丘　千夏子[1]、高澤　啓[1]、鹿島田　健一[1]、森尾　友宏[1]

[1]東京医科歯科大学病院、[2]東京かつしか赤十字母子医療センター

P2-8-4　Prenatal Vitamin D deficiency may alter neonatal glucocorticoid signaling leading to fetal growth restriction

赤嶺　オリビア[1]、金　潔駿[1]、長谷山　圭司[1]、上野　倫彦[1]、太田　創[2]、和田　真一郎[2]、齋　秀二[1,3]

[1]手稲渓仁会病院小児科、[2]手稲渓仁会病院産婦人科、[3]北海道大学遺伝子病制御研究所

P2-8-5　乳児期に両側副腎摘出術を受けた後に褐色細胞腫を発症した 10 歳女児例

出澤　洋人[1,2]、泉　維昌[1]、今川　有香[1]、山田　浩文[1]

[1]茨城県立こども病院小児総合診療科、

[2]筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター　茨城県厚生連　総合病院水戸協同病院　内分泌代謝・糖尿病内科

P2-8-6　中枢性思春期早発症を合併した副腎腺腫による Cushing 症候群の女児例

中川　万理恵、小田　洋一郎

茅ヶ崎市立病院小児科

P2-8-7　学校健診を契機として診断した Cushing 症候群の男児例

西本　由佳[1]、桑名　駿介[1,2]、松田　愛理[1]、丸金　拓蔵[1]、長尾　佳樹[1]、森下　祐介[1]、菊地　広朗[1]、荒木　まり子[1]、藤枝　悠希[3]、大畠　雅之[3]、藤枝　幹也[1]

[1]高知大学医学部小児思春期医学講座、[2]高知県立あき総合病院小児科、

[3]高知大学医学部外科学講座（小児外科学）

P2-8-8　尿中ステロイドプロフィルが診断に有用であった先天性副腎低形成症の 1 例

岩本　美紀[1,2]、髙橋　朋香[1,3]、宮脇　正和[1,4]、徳原　大介[1]

[1]和歌山県立医科大学小児科、[2]海南医療センター小児科、[3]和歌山ろうさい病院小児科、[4]紀南病院小児科

ポスター発表 9　性腺・その他

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　井澤　雅子（神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科）

松岡　尚史（東京女子医科大学附属足立医療センター小児科）

P2-9-1　外科的疾患合併例を含む性分化疾患（DSD）精査症例の後方視的検討

橘　真紀子[1]、松村　知美[1]、杉浦　愛子[1]、福田　明子[1]、牧　美穂[1]、大沼　真輔[1]、福岡　智哉[1]、木村　武司[1]、山本　哲史[1]、北畠　康司[1]、香川　尚己[2]、渡邊　美穂[3]、遠藤　誠之[4]、窪田　拓生[1]、三善　陽子[1,5]、大薗　恵一[1]

[1]大阪大学大学院医学系研究科小児科、[2]大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科、

[3]大阪大学大学院医学系研究科小児成育外科、[4]大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻、

[5]大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科

P2-9-2　中枢性思春期早発症に対する酢酸リュープロレリン皮下注射部位に化膿性肉芽腫を生じた視床下部過誤腫の 1 例

菱村　希、金子　直哉、森川　俊太郎、中村　明枝

北海道大学病院小児科

P2-9-3　テストステロン補充療法を開始した 48,XXYY の男児例

福原　正太、百瀬　笙子、小西　亮、瀧上　絵里香、久保　裕、齋藤　多恵子、東道　公人、森岡　茂己、小林　奈歩、藤井　法子、加納　原

京都第二赤十字病院小児科

P2-9-4　18 歳時に DSD チーム合同で病名告知を行った MGD(Mixed Gonadal Dysgenesis) の男性例

洪　聖媛[1]、松本　真明[2]、樋口　アカリ[3]、永井　正志[4]、洪本　加奈[5]、森貞　直哉[6]、
城戸　佐知子[7]、杉多　良文[8]、尾﨑　佳代[2]
[1]神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野、[2]兵庫県立こども病院代謝内分泌科、
[3]医療法人社団育心会二子新地ひかりこどもクリニック、[4]ながいキッズクリニック、
[5]兵庫県立こども病院ゲノム医療センター、[6]兵庫県立こども病院臨床遺伝科、
[7]兵庫県立こども病院循環器内科、[8]兵庫県立こども病院泌尿器科

P2-9-5　中枢性思春期早発症を合併した偽性偽性副甲状腺機能低下症の 1 例

山本　威久[1]、伊東　英美[1]、石井　裕代[2]、池田　泰之[1]、榊原　杏美[1]、平野　恭悠[1]、
東　純史[1]、木島　衣理[1]、長谷川　泰浩[1]、桑江　克樹[3]、下辻　常介[1]
[1]箕面市立病院小児科、[2]大阪大学医学部小児科、[3]箕面市立病院形成外科

P2-9-6　未診断の母体副甲状腺機能亢進症による新生児一過性副甲状腺機能低下症

多久和　麻由子[1]、高桑　聖[1]、松田　百代[1]、岸　由衣加[2]
[1]兵庫県立西宮病院小児科、[2]兵庫県立西宮病院糖尿病・内分泌内科

P2-9-7　2022 年に高次医療機関へ搬送した新生児のうち低血糖を伴う症例の臨床的検討

黒川　啓二
穂高病院小児科

ポスター発表 10　糖代謝・糖尿病・低血糖 8

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　綾部　匡之（ゆうすずこどもクリニック）
　　布川　香織（鎌倉療育医療センター小さき花の園　小児科）

P2-10-1 糖尿病ケトアシドーシスを繰り返し Ketosis-prone type2 diabetes と考えられた肥満女児例

平井　洋生[1]、地行　健二[1]、勢井　友香[2]、濱田　淳平[2]
[1]公立学校共済組合四国中央病院小児科、[2]愛媛大学大学院医学系研究科小児科学

P2-10-2 ABCC8 ヘテロ接合性多型を認めた若年発症糖尿病の一例

中谷　久恵[1,2]、中川　竜一[1,2]、鹿島田　健一[1]、森尾　友宏[1]、高澤　啓[1]
[1]東京医科歯科大学発生発達病態学分野、[2]武蔵野赤十字病院小児科

P2-10-3 分類不能型免疫不全症に合併した 1A 型糖尿病の 1 例

松本　英樹[1]、堀　友博[1,2]、森　真以[1]、門脇　紗織[1]、門脇　朋範[1]、白木　真由香[1]、
笹井　英雄[1,2]、遠渡　沙緒理[1]、小関　道夫[1]、川本　典生[1]、大西　秀典[1,2]
[1]岐阜大学大学院医学系研究科小児科学、
[2]岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター

P2-10-4 下垂体機能低下症との鑑別が困難であった先天性高インスリン血症の一例

木村　美輝[1,2]、加藤　俊輔[2]、福嶋　真衣[2]、池田　麻衣子[2,3]、井澤　雅子[2,4]、濱島　崇[2]
[1]協立総合病院小児科、[2]あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科、
[3]名古屋掖済会病院小児科、[4]神奈川こども医療センター

P2-10-5 劇症 1 型糖尿病に酷似した経過を辿った重症 DKA の 10 か月女児

中矢　隆大[1]、竹本　幸司[1]、地行　健二[2]、宇都宮　秀和[3]、勢井　友香[4]、濱田　淳平[4]、
平井　洋生[2]、江口　真理子[4]
[1]愛媛県立新居浜病院、[2]四国中央病院、[3]市立八幡浜総合病院、
[4]愛媛大学大学院医学系研究科小児科学

P2-10-6 治療に難渋した先天性高インスリン血症の一例

金子　直哉[1]、中山　加奈子[1]、菱村　希[1]、森川　俊太郎[1]、森岡　圭太[2]、鈴木　滋[3]、
中村　明枝[1]
[1]北海道大学病院小児科、[2]天使病院小児科、[3]旭川医科大学病院小児科

P2-10-7 HbA1c とグリコアルブミンの乖離を契機に血糖マネジメントが改善した思春期２型糖尿病

江田　陽一[1,2]、大津　義晃[1,2]、島田　正晴[1,2]、西村　秀子[1]、滝沢　琢己[2]
[1]利根中央病院小児科、[2]群馬大学大学院医学系研究科小児科学

ポスター発表 11　甲状腺５

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　松下　理恵（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康解析学講座薬剤疫学分野）
虫本　雄一（九州大学病院小児科）

P2-11-1 １型糖尿病とバセドウ病を同時発症した多腺性自己免疫症候群３型の 11 歳女児例

河辺　泰宏[1]、長　千春[1]、西田　望[1]、森元　英周[1]、中島　久和[2]、杉本　哲[1]
[1]京都府立医科大学 小児科、[2]みどりヶ丘病院 小児科

P2-11-2 新生児バセドウ病に対しチアマゾールとヨウ化カリウムで治療するもコントロールに難渋している一例

吉松　佳祐、勢井　友香、濱田　淳平、江口　真理子
愛媛大学医学部附属病院小児科

P2-11-3 バセドウ病母体より出生した阻害型 TSH 受容体抗体 (TSBAb) による新生児一過性甲状腺機能低下症の一例

庄司　夕季乃[1]、成瀬　裕紀[1]、今田　寛[1,2]、森　雅人[1]、平本　龍吾[1]
[1]松戸市立総合医療センター小児科、[2]千葉大学医学部附属病院小児病態学

P2-11-4 重症筋無力症を合併した多腺性自己免疫症候群３型の一例

松田　卓也[1]、黒柳　裕一[2]、町原　巧実[1]、峯　敦[2]、茂原　聖史[1]、岡本　奈美[1]、高谷　竜三[3]、
川村　尚久[1]、芦田　明[2]
[1]大阪労災病院、[2]大阪医科薬科大学病院、[3]済生会茨木病院

P2-11-5 一過性甲状腺機能亢進症を合併した組織球性壊死性リンパ節炎の１例

石川　皓久[1]、波多野　恵[1,2]、稲井　郁子[1]、細谷　要介[1]、梅原　直[1]、長沖　優子[1]、
谷本　英里[1]、長谷川　大輔[1]、小澤　美和[1]
[1]聖路加国際病院小児科、[2]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍医学分野

P2-11-6 身長 SD 値の上昇から甲状腺機能亢進症の診断に至った一女児例

上田　晃三
松山赤十字病院小児科

P2-11-7 低血糖による意識障害を契機に診断された甲状腺機能亢進症の一例

波多野　陽輝、成瀬　裕紀、森　雅人、平本　龍吾
松戸市立総合医療センター

ポスター発表 12　骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患４

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　北岡　太一（医誠会国際総合病院・小児科）
髙木　優樹（糀谷こどもクリニック）

P2-12-1 局所麻酔剤でボソリチド皮下注の疼痛管理し真空固定具により鎮静剤無しに MRI 施行した軟骨無形成症の１例

本田　義信
いわき市医療センター

P2-12-2 くる病と鑑別を要する骨系統疾患 Metaphyseal anadysplasia(MAD) の１例

本川　未都里[1]、浦川　立貴[1,2]、川村　遥[1]、鏡　雅代[2]、深見　真紀[2]、難波　範行[3]、
伊達木　澄人[1]
[1]長崎大学病院小児科、[2]国立成育医療センター　分子内分泌研究部、
[3]鳥取大学医学部付属病院　小児科

P2-12-3 繊維性骨異形成の２症例

兼次　拓也、當山　真紀、黒川　慎吾、名嘉山　賀子、仲村　貞郎、知念　安紹、中西　浩一

琉球大学大学院医学研究科育成医学講座

P2-12-4 burosumab を開始した X 連鎖性低リン血症性くる病の同胞例－乳児期治療開始の必要性の検討も含めて－

徳永　美菜子[1]、溝田　美智代[1]、長谷川　高誠[2]、二川　奈都子[2]

[1]今村総合病院小児科、[2]岡山大学病院小児科

P2-12-5 低ホスファターゼ症 4 例に対するホスファターゼアルファの使用経験

宇治田　凪紗、土井　響、五十嵐　瑞穂、石丸　雅矩、鹿島　健幹、谷本　英里、中村　千鶴子、福井　貞弘、宮城　元、藤岡　晶子、吉井　啓介、内木　康博、堀川　玲子

国立成育医療研究センター　内分泌・代謝科

P2-12-6 副甲状腺機能亢進症の術後に低カルシウム血症が遷延した hungry bone syndrome の 12 歳男子

長沼　純子[1]、小山　さとみ[1]、谷口　有寿佳[2]、吉原　重美[1]

[1]獨協医科大学小児科学、[2]那須赤十字病院小児科学

P2-12-7 高 Ca 血症クリーゼを契機に診断された副甲状腺腫の一例

武内　香菜子、熊田　寛子、内海　孝法、坂田　園子、香川　礼子、岡田　賢

広島大学病院小児科

P2-12-8 無症候性の高アルカリホスファターゼ血症が持続する女児

小野　真[1,2]、山﨑　勇大[2,3]

[1]千葉市立海浜病院小児科、[2]東京ベイ・浦安市川医療センター小児科、[3]土浦協同病院小児科

ポスター発表 13　CCS・水電解質・その他３

10 月 20 日（金）17：20 ～ 18：20　ポスター会場（ソニックシティビル B1F 第 2 ～第 5 展示場）

座長　伊藤　純子（虎の門病院小児科）

堀　友博（岐阜大学大学院医学系研究科小児科学）

P2-13-1 多飲多尿から診断された２型 Bartter 症候群の 1 例

渡部　瑶[1]、岩田　康平[1]、山田　勇気[1]、樋口　真司[1]、野津　寛大[2]、森　潤[1]

[1]大阪市立総合医療センター　小児代謝・内分泌内科、

[2]神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科

P2-13-2 偶発的に見つかった無症候性 SIADH の 14 歳男児例

谷川　渉[1]、金城　健一[1]、増永　陽平[1]、藤澤　泰子[1]、大高　幸之助[2]、増井　洋子[3]、飯野　和美[4]、緒方　勤[5,6]

[1]浜松医科大学医学部附属病院小児科、[2]磐田市立総合病院小児科、[3]磐田市立総合病院看護部、[4]磐田市立総合病院糖尿病・内分泌内科、[5]浜松医療センター小児科、

[6]浜松医科大学医学部附属病院医化学

P2-13-3 体重増加不良精査のために当院を紹介受診した続発性偽性低アルドステロン症の乳児例

島崎　俊介、今泉　孝章、木谷　豊、佐藤　純一

船橋市立医療センター小児科

P2-13-4 中枢性尿崩症と鑑別が困難であった dipsogenic diabetes insipidus の一例

木島　俊英[1,2]、水野　裕介[2]、青山　幸平[3]、石井　智弘[1]、長谷川　奉延[1]、

[1]慶應義塾大学病院小児科、[2]済生会宇都宮病院、[3]名古屋市立大学病院

P2-13-5 先天性心疾患の経過観察中に診断に至った Myhre 症候群の一例

二川　奈都子、吾郷　祐子、長谷川　高誠、塚原　宏一

岡山大学病院小児科

P2-13-6 抗利尿ホルモン補充療法を要した視床下部の完全分離を伴う全前脳胞症の 1 例

柴田　浩憲[1]、有安　大典[1]、古川　律子[2]、森　和広[2]、佐藤　宏朗[3]、石井　智弘[4]、
長谷川　奉延[4]、鳴海　覚志[4]
[1]川崎市立川崎病院小児科、[2]川崎市立川崎病院新生児内科、[3]川崎市立川崎病院放射線診断科、
[4]慶應義塾大学医学部小児科学教室

P2-13-7 水中毒の治療中に輸液の溶質負荷により血清 Na 濃度が急上昇した一例 ～デスモプレシンの使用経験～

有安　大典[1]、小林　寛太朗[2]、土橋　隆俊[1]
[1]川崎市立川崎病院小児科、[2]佐野厚生総合病院　小児科

P2-13-8 食事摂取不良が遷延した先天性腎性尿崩症の男児例

荒木　まり子、西本　由佳、森下　祐介、玉城　渉、藤枝　幹也
高知大学医学部小児思春期医学教室

オンデマンド配信のみのセッション

教育講演 1

◎

EL1　遺伝子解析研究・遺伝子診療における倫理：四半世紀にわたる変遷

鏡　雅代

国立成育医療研究センター分子内分泌研究部

教育講演 2

◎

EL2　遺伝学的検査の進め方

沼倉　周彦

埼玉医科大学ゲノム医療科・小児科

教育講演 3

◎

EL3　主訴：低身長 ... その９割にどう対応する？

曽根田　瞬

たなか成長クリニック／聖マリアンナ医科大学小児科

教育講演 4

◎

EL4　新生児マススクリーニング TSH 高値児への初期対応

長崎　啓祐

新潟大学医歯学総合病院小児科

教育講演 5

◎

EL5　中枢性思春期早発症の診断と治療

水野　晴夫

藤田医科大学医学部小児科学

教育講演 6

◎

EL6　１型糖尿病発症時の対応

小川　洋平

新潟大学医歯学総合病院小児科

教育講演 7

◎

EL7　小児肥満症への初期対応：効果的で最適な介入を目指して

山本　幸代

産業医科大学医学部医学教育担当教員／産業医科大学小児科

Year Book1

◎

YB1　下垂体・成長

磯島　豪

虎の門病院小児科

Year Book2

◎

YB2　副腎

滝島　茂

草加市立病院診療部小児科

Year Book3

◎

YB3　性腺・性分化疾患

佐藤　武志

慶應義塾大学医学部小児科学教室

Year Book4

◎

YB4　思春期

青山　幸平

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

Year Book5

◎

YB5　甲状腺

伊藤　順庸

金沢医科大学医学部小児科

Year Book6

◎

YB6　骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患

北岡　太一

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

Year Book7

◎

YB7　糖尿病・低血糖

武者　育麻

埼玉医科大学病院小児科

Year Book8

◎

YB8　肥満・やせ・栄養・脂質代謝

井ノ口　美香子

慶應義塾大学保健管理センター

Year Book9

◎

YB9　CCS・トランジション

森川　俊太郎
北海道大学小児科

Year Book10

◎

YB10　遺伝・症候群

佐野　伸一朗
静岡こども病院